

岐阜県立国際園芸アカデミー

令和7年度 自己評価報告書

－ 資料編 －

令和8年3月

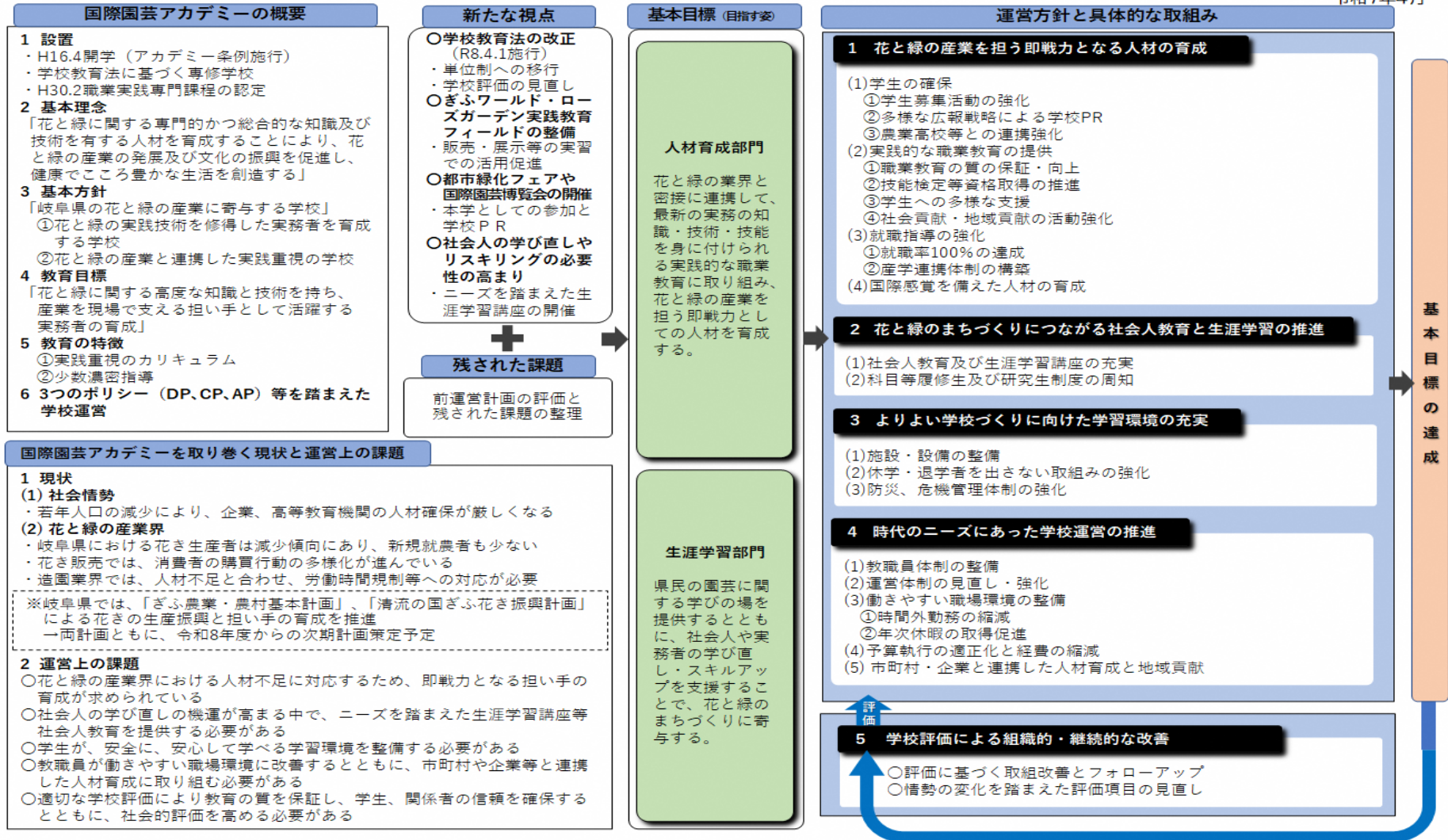
目 次

1 教育理念・目標	
資料1-1 国際園芸アカデミー運営計画の概要	1
資料1-2 3つの方針(DP、CP、AP)	2
資料1-3 SDGs推進の基本方針	3
2 学校運営	
資料2-1 令和7年度国際園芸アカデミーの所属目標	4
資料2-2 令和7年度「運営計画」目標指標に対する実績	5
資料2-3 教職員体制図	7
資料2-4 委員会、会議等	7
資料2-5 学内組織の詳細	8
資料2-6 産学官との連携	11
資料2-7 連携・協定締結自治体・企業との取組み	18
資料2-8 教職員の研修	20
3 教育活動	
資料3-1 学生の授業評価アンケート結果	24
資料3-2 主な学校行事等	30
資料3-3 各種発表会・報告会	31
資料3-4 インターンシップ実施状況	33
資料3-5 海外視察研修	34
資料3-6 特別講座	35
資料3-7 実践教育フィールドの活用実績(ぎふワールド・ローズガーデン内)	36
資料3-8 花と緑の連携授業	37
4 学修成果・教育成果	
資料4-1 進路の状況(令和7年度卒業生)	38
資料4-2 卒業時の進路の状況(令和7年度卒業生までの累計)	39
資料4-3 資格の取得状況	40
資料4-4 競技大会・コンペティション等の参加状況	41
資料4-5 入賞・表彰等の状況	41
5 学生支援	
資料5-1 奨学金等の状況	42
資料5-2 寄付金、寄付物品	43
資料5-3 休学者・退学者数、進級者数	44
資料5-4 卒業生及び同窓会との連携	45
6 教育環境	
資料6-1 施設・備品の整備改修	46
7 学生の受入れ募集	
資料7-1 広報活動状況及び学生募集活動状況	47
資料7-2 入学試験の実施状況	53
資料7-3 学生の入学・卒業状況	54
8 教育の内部質保証システム	
資料8-1 内部質保証の基本方針及び実施体制	55
資料8-2 アセスメント・ポリシー	56
9 財務	
資料9-1 収入と支出の状況	59
10 社会貢献・地域貢献	
資料10-1 生涯学習講座	60
資料10-2 ボランティア活動	61
11 国際交流	
資料11-1 国際園芸アカデミー国際交流計画の概要	63
資料11-2 国際交流の実績	64

資料1-1

「国際園芸アカデミー運営計画」 計画期間：令和7年度(2025年度)～令和11年度(2029年度)の概要

令和7年4月



資料1-2 3つの方針(DP、CP、AP)

本学の基本理念である「花と緑に関する専門的かつ総合的な知識及び技術を有する人材を育成することにより、花と緑の産業の発展及び文化の振興を促進し、健康でこころ豊かな生活を創造する」に基づく充実した教育活動を展開することにより、生涯学び続け、主体的に考える力を持ち、未来を切り拓いていく人材を育成するため、3つの方針を定めている。

卒業の認定に関する方針：DP（ディプロマ・ポリシー）

国際園芸アカデミーは、次の資質・能力を身に付けた学生に対して卒業を認定し、「専門士（園芸系専門課程）」の称号を授与します。

- ① 幅広い教養を身に付け、広い視野に立ち、物事に対して公正な判断をすることができる。
- ② 幅広い専門的知識と創造的な技能、優れた経営感覚を身に付け、社会における諸問題の解消のためにその知識・技能を活用することができる。
- ③ 社会における課題探求と問題解決の能力を修得し、主体的に学び続け、学んだことを分かち合い、ともに成長することができる。

教育課程の編成・実施に関する方針：CP（カリキュラム・ポリシー）

国際園芸アカデミーは、教育目標を達成し、称号授与方針に示す資質・能力を身に付けさせるため、次のような教育課程を編成し、実施します。

- ① 教育課程において、基礎教育科目、専門教育科目、応用教育科目、研究教育科目を段階的に学習できるよう体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を実施することにより、専門分野の知識・技能を確実に修得し、問題解決のために活かすことができるようにする。
- ② 演習や実習科目を中心に能動的学習要素を取り入れることにより、生涯にわたって主体的に学び、他者との相互理解や意見交換ができるようにする。
- ③ 学修成果に対する厳格な成績評価と単位認定を行うとともに、学習行動調査や国際的な評価制度（GPA）の導入、修得時間数に基づく個別指導を行うことにより、個々の達成度と将来計画に応じた学修を進めることができるようにする。
- ④ 開講科目については、シラバスにより授業計画、学習到達目標、成績評価基準などを明確にし公表する。

入学者の受け入れに関する方針：AP（アドミッション・ポリシー）

国際園芸アカデミーは、高等学校等における学習を通じて、次のような資質・能力を身に付けている人を受け入れます。

- ① 専門学校での学修の基礎となる高等学校における各教科の基本事項を修得している。
- ② 学修成果を社会で活かすという目的意識がある。
- ③ 専門学校在学中だけでなく、卒業後も学び続ける意欲がある。
- ④ モラルがあり、基本的な態度や礼儀（言動や身だしなみなど）が身についている。
- ⑤ 基本的な生活習慣（体調管理、時間管理など）が身についている。
- ⑥ 他者を思いやり、協調性を重んじる人。

※3つの方針を定め、公表することは、大学においては学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）により義務となっている。本学は専修学校であり義務となっていないが、体系的で組織的な教育活動等を展開する上で重要な役割を担うものであり、大学に準じて定め、公表している。

資料 1-3 SDGs 推進の基本方針

1. 岐阜県立国際園芸アカデミーがSDGs達成に向けて貢献できること

気候変動の進行による自然災害の多発化、生物多様性の喪失、飢餓や貧困問題など、世界では、様々な問題に直面しています。

それらの問題の解決に向けて、2015年には、国際社会共通の目標として、2030年までに達成すべき17の項目、SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」が定められました。これは、遠い世界の出来事ではなく、日本の私たちの生活にも深く関わっています。これからの時代に向けて、岐阜県立国際園芸アカデミーは、SDGs達成に向けて、どのような貢献ができるかを考えています。

2. 岐阜県立国際アカデミーの強み

岐阜県立国際園芸アカデミーは、2004年の開学以来、「花と緑の空間づくり」による健康で心豊かな生活の創造に向けて、生産、装飾、造園緑化の各分野について幅広い知識と実践技術の習得し、持続可能な社会の構築に向けて教育を行ってきました。また、それらの実践を通じて持続可能な社会の実現に貢献しています。

3. 岐阜県立国際アカデミーがSDGs達成に向けて進める3つの方針

岐阜県立国際園芸アカデミーは、3つの方針を立て、このSDGsを達成していきます。

第一は、「花と緑」の教育を通じて、幅広い専門的知識と創造的な技能、優れた経営感覚を身に付け、SDGs達成に向けて、その知識と技能を活用してこれからの持続可能な社会の構築に向けて活躍する人材の育成を行うことです。

第二に、社会における課題探求と問題解決の能力を修得し、SDGs達成に向けた実践活動を岐阜県内外で行い、地域の環境改善活動に寄与することです。

第三に、学校運営や組織管理において、人材の多様性の尊重、環境負荷を低減するキャンパス運営を行い、幅広い分野でSDGsを達成します。

資料2-1

令和7年度 国際園芸アカデミーの所属目標

★印:新規 ☆印:拡充

人材育成部門	1 学生の確保	【目標値】出願者数 30人以上	4 社会人教育・生涯学習の場の提供	【目標値】生涯学習講座数 19講座
	2 教育水準の向上	【目標値】資格取得に係る合格率 100%	生涯学習部門	
	3 就職指導の強化	【目標値】就職希望者の就職率 100%		
	5 よりよい学校づくりに向けた取り組み	【目標値】学生要望に基づく学習環境改善 1件以上 連携・協力協定締結先との取組数 40取組		

1 学生の確保

【目標値】出願者数 30人以上

① 学生募集活動の強化

- ・県内外の高校訪問の実施及び県内高校進路ガイダンスへの参加
- ・体験型オープンキャンパスや年間を通じた学校見学会の開催による本学の魅力発信

② 多様な広報戦略による学校PR

- ・ホームページやSNS等へのトピックス・ブログ掲載による情報発信
- ・入学式や卒論発表会等をライブやアーカイブにより配信

③ 農業高校との連携強化

- ★・農業高校の関連学科・学年単位による学校見学会の開催
- ☆・県下7農業高校での「花と緑の連携授業」の実施と定着

2 教育水準の向上

【目標値】資格取得に係る合格率 100%

① 職業教育の質の保証・向上

- ・アセスメント・ポリシーに基づく学修成果の適切な評価と改善の実施
- ・最新技術習得と人的ネットワーク構築に向けた教員企業研修の実施

② ぎふワールド・ローズガーデンを活用した実践教育の拡充

- ☆・販売・展示実習、フィールドと連携した座学等の拡大
- ★・全国都市緑化ぎふフェアへの参加・協力

③ 技能検定等資格取得率の向上

- ・非常勤講師による対策授業の強化及び連携企業が開催する技術研修会への参加

④ 学習意欲の向上に繋がる学生への経済的支援

- ・新たな奨学金制度の創設と寄附による教育資材等の活用

⑤ 国際交流計画に基づいた海外教育機関等との連携

- ☆・フランスの教育機関等との相互交流実施に向けた連携調整
- ★・中国の教育機関との協定に基づく技術交流の実施

3 就職指導の強化

【目標値】就職希望者の就職率 100%

① 就職希望者全員の就職達成

- ・卒業生が活躍している企業等でのインターンシップの実施
- ・卒業生から学ぶ「花と緑の意見交換会」や「企業説明会」の開催
- ・入学時からの定期的な個別面談による進路指導の実施

② 産学連携体制の構築

- ・魅力ある就職先拡大につながる花と緑の関連企業との共同研究の実施
- ・花と緑の業界と連携したキャリア教育講座（特別講座）の開催

4 社会人教育・生涯学習の場の提供

【目標値】生涯学習講座数 19講座

① 生涯学習講座（一般向け講座）の開催

- ☆・親子や小中学生を対象にした季節ごとに楽しめる体験型講座を充実
- ☆・ぎふワールド・ローズガーデン施設を活用した講座の拡充

② 生涯学習講座（実務者向け講座）の開催

- ・卒業生アンケートなどによるニーズを踏まえた講座の開催

③ 連携・協力協定締結自治体との取り組み

- ・自治体が主催する市民講座やまちづくり活動への講師の派遣

④ 科目等履修生制度の周知

- ・卒業生、社会人、業界関係者等に向けた制度の積極的な周知

5 よりよい学校づくりに向けた取り組み

【目標値】学生要望に基づく学習環境改善 1件以上
連携・協力協定締結先との取組数 40取組

① 休学者・退学者を出さない取組みの強化

- ・スクールカウンセリングによる学生相談の実施
- ・学生生活や進路についてご家族と行う「個別相談会」の開催

② 地域社会と繋がる様々な課外活動への参加支援

- ・学生へのボランティア活動の情報提供と自主的な参加の支援

③ 連携・協力協定締結先との取り組みの推進

- ・産業振興、環境保全、景観まちづくりなど地域課題への助言

④ 学校評価の実施

- ・「内部質保証推進委員会」と「自己点検・評価委員会」による自己評価及び改善計画の作成・実行による教育の質の保証
- ・学校関係者評価委員会の開催及び学校評価の公表

⑤ 学習環境の改善

- ☆・学生アンケートにより要望のあった学習環境の整備

⑥ 働きやすい職場環境づくり

- ・時間外勤務の縮減と年次休暇の計画的な取得促進

⑦ 経費の節減

- ・光熱水費、コピー枚数等の節減

－ 2 学校運営 －

「国際園芸アカデミー運営計画」目標指標
進捗管理表(令和7年度 実績)

令和8年3月現在

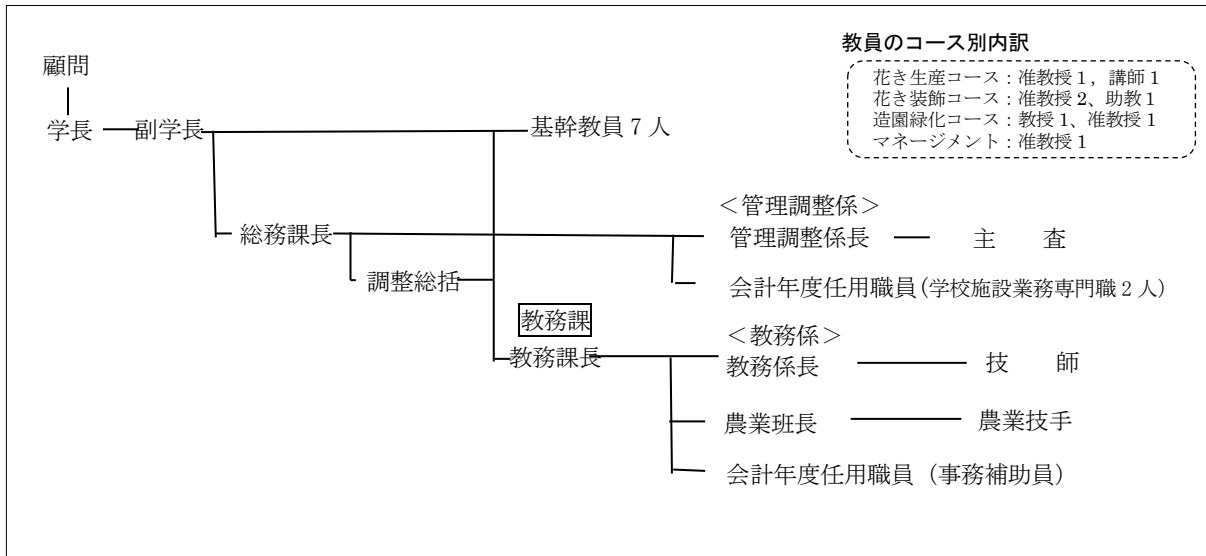
資料2-2

目標指標	基準値 令和6年度	区分	暫定目標				目標年度
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1 花と緑の産業を担う即戦力となる人材の育成							
1-1 出願者数 (推薦入試、一般入試、外国人留学生入試の合計)	令和2-6年度入試 平均 28.6人	目標値	毎年度30人以上	毎年度30人以上	毎年度30人以上	毎年度30人以上	毎年度30人以上
		実績値	22				
		達成率	73%				
1-2 オープンキャンパス、学校見学会の開催日数	14日間	目標値	毎年度14日間以上	毎年度14日間以上	毎年度14日間以上	毎年度14日間以上	毎年度14日間以上
		実績値	14				
		達成率	100%				
1-3 オープンキャンパスの参加者	令和2-6年度 平均 33.8人	目標値	毎年度40人	毎年度40人	毎年度40人	毎年度40人	毎年度40人
		実績値	32				
		達成率	80%				
1-4 資格取得に係る合格率	造園：2級造園技能士（実技） 令和2-6年度 平均 造園 61%	目標値	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	造園100%
		実績値	50%				
		達成率	50%				
	装飾：2級フラワー装飾技能士（実技） 令和2-6年度 平均 装飾 89%	目標値	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	装飾100%
		実績値	91%				
		達成率	91%				
1-5 卒業時アンケート結果 自己評価3.5以上（5点満点中）の学生数の割合	令和4-6年度 平均 76%	目標値	毎年度80%以上	毎年度80%以上	毎年度80%以上	毎年度80%以上	毎年度80%以上
		実績値	90.0%				
		達成率	100%				
1-6 就職希望者の就職率	令和2-6年度 平均 96%	目標値	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%
		実績値	100%				
		達成率	100%				
2 花と緑のまちづくりにつながる社会人教育と生涯学習の推進							
2-1 生涯学習講座（一般向け講座）開催数	令和2年-6年度 累計 40講座	目標値	8講座	16講座（累計）	24講座（累計）	32講座（累計）	40講座（R7～R11計）
		実績値	9講座				
		達成率	113%				
2-2 社会人教育（実務者向け）講座開催数	令和2-6年度 累計 57講座	目標値	12講座	24講座（累計）	36講座（累計）	48講座（累計）	60講座（R7～R11計）
		実績値	11講座				
		達成率	92%				
2-3 開講講座全体の募集定員に対する充足率	令和2-6年度 平均 68%	目標値	毎年度80%	毎年度80%	毎年度80%	毎年度80%	毎年度80%
		実績値	59.3%				
		達成率	74%				
2-4 受講者アンケート結果 「十分満足」、「満足」の満足度	令和2-6年度 平均 94%	目標値	毎年度90%以上	毎年度90%以上	毎年度90%以上	毎年度90%以上	毎年度90%以上
		実績値	96.7%				
		達成率	107%				

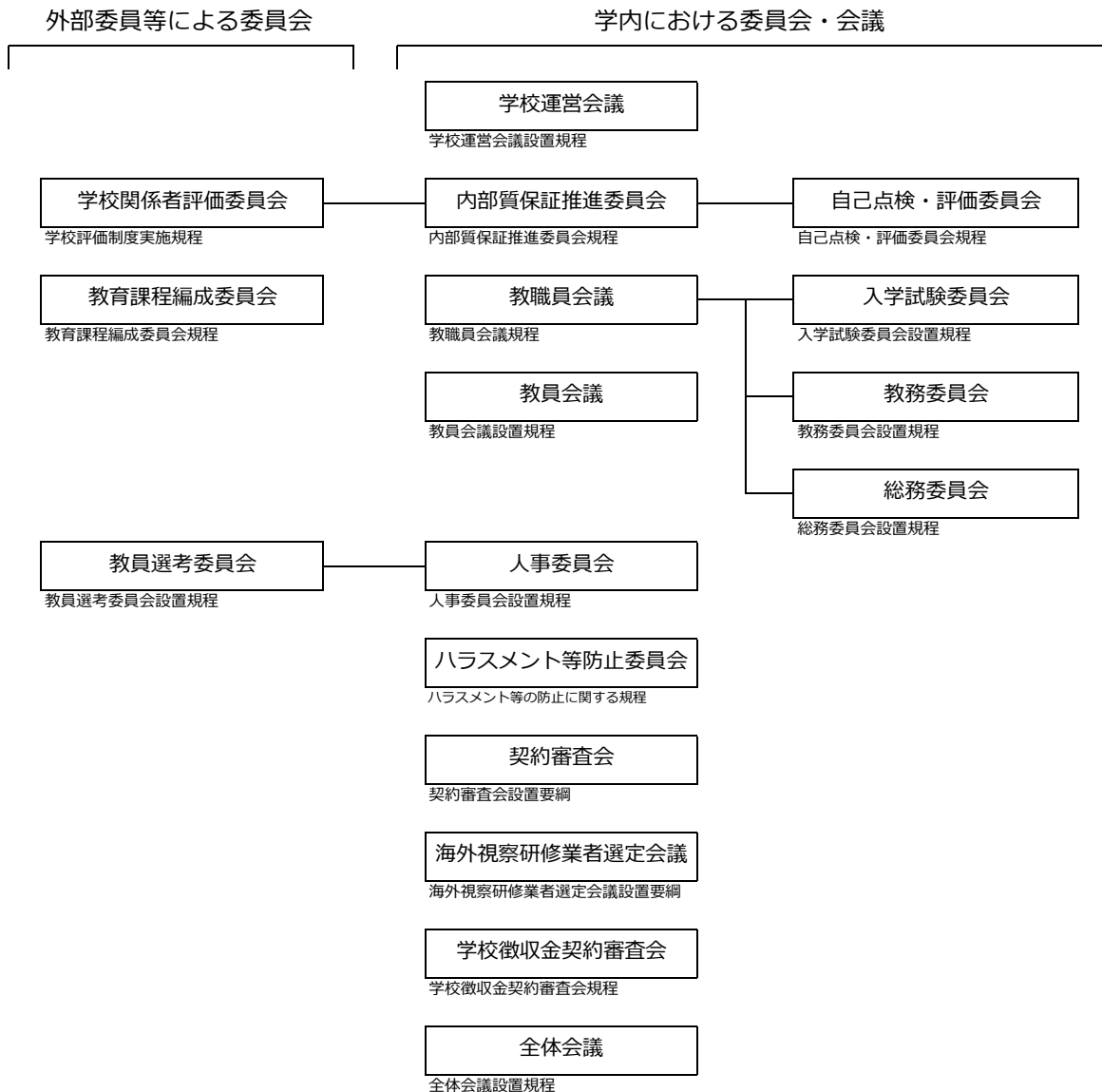
- 2 学校運営 -

目標指標	基準値	区分	暫定目標				目標年度
	令和6年度		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
3 よりよい学校づくりに向けた学習環境の充実							
3-1 ぎふワールド・ローズガーデンを活用した年間授業時間数	令和6年度 217時間	目標値	240時間	320時間	400時間	400時間	400時間
		実績値	205時間				
		達成率	85%				
3-2 休学者数、退学者数	令和2-6年度 平均 休学者1.0人/年 平均 退学者1.6人/年	目標値	—	—	—	—	休学者0.5人/年 退学者0.8人/年 (R7~R11平均)
		実績値	休学者2.0人 退学者1.0人				
		達成率	—	—	—	—	
3-3 学生アンケートにより要望のあった学習環境整備の対応数	令和2-6年度 各年度1つ以上の 整備	目標値	毎年度1つ以上の整備	毎年度1つ以上の整備	毎年度1つ以上の整備	毎年度1つ以上の整備	5整備 (R7~R11計)
		実績値	1				
		達成率	100%				
4 時代のニーズにあった学校運営の推進							
4-1 市町村、企業との連携・協力協定締結数	7協定	目標値	7協定 (累計)	8協定 (累計)	9協定 (累計)	9協定 (累計)	10協定
		実績値	7				
		達成率	100%				
4-2 連携・協力協定締結先との取組数	令和2-6年度 延べ 203取組	目標値	40取組	80取組 (累計) 40取組 (単年度)	120取組 (累計) 40取組 (単年度)	160取組 (累計) 40取組 (単年度)	200取組 (R7~R11計)
		実績値	43				
		達成率	108%				
5 学校評価による組織的・継続的な改善							
5-1 学校関係者評価での評価値	令和5年度評価 平均評価値3.6	目標値	平均評価値3.7	平均評価値3.7	平均評価値3.7	平均評価値3.8	平均評価値3.8
		実績値	3.7				
		達成率	100%				

資料2-3 教職員体制図 (令和7年度)



資料2-4 委員会、会議等 令和7年度 各種委員会・会議組織図



資料 2-5 学内組織の詳細

(1) 各種委員会等の構成員 (令和7年度)

委員会等名称 ※ () は庶務又は事務局	代表者又は 主宰者	構 成 員
学校運営会議 (総務課)	学 長	学長 (議長)、副学長、総務課長、調整総括 教務課長
教職員会議 (調整総括)	学 長	学長 (議長)、副学長、総務課長、基幹教員、 調整総括、教務課長、教務係長、管理調整係長
教員会議	吉田准教授	吉田准教授 (議長)、佐藤准教授、前田准教授、 雨宮講師、林准教授、村瀬助教、新井准教授
入学試験委員会 (教務係)	学 長	学長 (委員長)、副学長、総務課長、調整総括 吉田准教授、教務課長、教務係長、教務係担当
教務委員会 (教務係)	調整総括	調整総括 (委員長)、佐藤准教授 (副委員長) 前田准教授、林准教授、新井准教授、教務係長、 教務係担当
総務委員会 (管理調整係)	総務課長	総務課長 (委員長)、佐藤准教授 (副委員長) 吉田准教授、雨宮講師、村瀬助教、教務課長、 管理調整係長
ハラスメント等防止委員会 (教務課)	副学長	<防止委員会> 副学長 (委員長)、総務課長 (副委員長)、 吉田准教授 (学科主任・女性教職員)、調整総括、 教務課長 <相談窓口> 総括相談員：総務課長 (総務委員長) 相 談 員：吉田准教授 (学科主任・女性教職員)、 前田准教授、新井准教授、教務課長
教員選考委員会 (教務課)	農政部長	農政部長 (委員長)、農政課長、農産園芸課長 学長、副学長、総務課長、教務課長
人事委員会 (教務課)	学 長	学長 (委員長)、副学長、総務課長、調整総括、 教務課長
契約審査会 (管理調整係)	副学長	副学長 (会長)、総務課長 (副会長)、吉田准教授、 教務課長、管理調整係長、管理調整係担当
海外視察研修業者選定会議 (管理調整係)	副学長	副学長 (会長)、総務課長 (副会長)、教務課長、 引率教職員、管理調整係長
学校徴収金契約審査会 (管理調整係)	副学長	副学長 (会長)、総務課長 (副会長)、吉田准教授、 教務課長、学生会代表、管理調整係担当
全体会議 (管理調整係)	学 長	全教職員

(2) 教務・総務委員会における業務分掌 (令和7年度)

【教務委員会】

役割 (担当項目)	分 掌 事 務	主 任	副主任
委員長：井戸調整総括	委員会業務総括・管理		
副委員長：佐藤准教授	委員長の補佐		
	1 シラバスの編成	佐藤准教授	井戸調整総括
	2 時間割の調整	林准教授	佐藤准教授
	3 授業評価	新井准教授	井戸調整総括
	4 卒業時・卒業生アンケート	佐藤准教授	井戸調整総括
	5 進路指導	前田准教授	佐藤准教授
	6 企業説明会	佐藤准教授	前田准教授
	7 インターンシップ報告会	林准教授	前田准教授
	8 卒業研究・卒業制作	前田准教授	新井教授
	9 海外研修報告会	新井准教授	林准教授
	10 生涯学習講座の企画	林准教授	前田准教授
	11 花と緑の意見交換会	佐藤准教授	新井准教授
	12 岐阜県域農林業教育システム研究発表交流会	前田准教授	新井准教授
庶務担当	1 委員会の庶務	教務係担当	

【総務委員会】

役割 (担当項目)	分 掌 事 務	主 任	副主任
委員長：岩島総務課長	委員会業務総括・管理		
副委員長：佐藤准教授	委員長の補佐		
	1 学校主要行事の企画・実施 (1) 活動成果報告会 (2) 教員企業研修報告会 (3) 個別相談会	雨宮准教授 佐藤准教授 佐藤准教授	吉田准教授 村瀬助教 村瀬助教
	2 広報パンフレット作成	村瀬助教	吉田准教授
	3 学校ホームページ更新	佐藤准教授	雨宮講師
	4 オープンキャンパス・学校説明会	吉田准教授	佐藤准教授
	5 施設・備品の整備・管理	岩島総務課長	佐藤准教授
	6 環境美化・エリア管理	佐藤准教授	雨宮講師
	7 図書収集・管理	佐藤准教授	雨宮講師
	8 学生会活動、課外活動	佐藤准教授	吉田准教授
	9 同窓会との連携・調整	村瀬助教	佐藤准教授
	10 農業高校との交流活動	雨宮講師	吉田准教授
	11 ボランティア活動の推進	吉田准教授	村瀬助教
庶務担当	1 委員会の庶務	管理調整係長	

(3) 学科主任、学年主任 (令和7年度)

学科主任	1 学年主任		2 学年主任
	前 期	後 期	
吉田准教授	前田准教授	前田 准教授：花き生産コース 吉田 准教授：花き装飾コース 新井 准教授：造園緑化コース	

○ 外国人留学生の生活指導担当者

担当	担当者	備 考
主 任	新井 准教授	造園緑化コース主任
副主任	佐藤 准教授	総務委員会副委員長

(4) 生涯学習部門主任 (令和7年度)

教務課長

資料2-6 産学官との連携 (令和7年度)

(1) 企業・団体

区分	連携先	連携内容	教職員名
(花き生産)	ぎふ花と緑の振興コンソーシアム	通常総会及び交流会 (4/28)	副学長
	ニッポー工業株式会社	加茂農林高校生徒と商品作りの方法調査 (4/2) 珪藻土ウレタン押し活商品開発 (4/21, 5/28, 7/9, 8/8, 9/4, 9/18, 10/28, 12/9, 1/15, 2/4, 3/4)	前田
	名古屋園芸株式会社	珪藻土ウレタン商品販売状況調査 (5/3) 商品開発演習視察 (10/22, 1/28)	前田
	井堀植木市場	園芸流通概論視察 (5/15)	雨宮 前田
	ホームセンターバロー 稲沢平和店	園芸流通概論視察 (5/15) 国内視察研修視察 (8/6)	
	株式会社東海化成	都市緑化フェア出展ブースにて生分解性ポット 普及活動 (6/3) ぎふワールド・ローズガーデンにて生分解性ポ ット苗定植視察 (6/9)	前田
	みのかもローゼル振興会	ローゼル共同研究 (6/19, 11/14)	雨宮
	ユーティローズ	花き生産実習視察 (7/1) 国内視察研修視察 (8/7)	前田 雨宮
	小関園芸	花き生産実習視察 (7/1)	
	岐阜花き流通センター 農業協同組合	花き就農応援隊現地研修会 (7/14)	前田 雨宮
		創立40周年記念式典 (1/24)	副学長 井戸
		2026春内覧会 (2/20)	井戸 前田 雨宮
	岐阜生花市場協同組 合	生産マネジメント実習 (4/7) 花き就農応援隊現地研修会 (7/14)	前田 雨宮
	株式会社岐孝園	花き就農応援隊現地研修会 (7/14)	前田 雨宮
	国営木曾三川公園 フラワーパーク江南	変化朝顔展 変わり咲き品種「獅子咲」「采 咲」展示提供 (7/19～8/31)	前田
	株式会社名港フラワ ーブリッジ	国内視察研修視察 (9/10)	前田
	愛知豊明花き地方卸 売市場	国内視察研修視察 (9/10)	前田
	錦園芸	生産課題解決演習Ⅰ視察 (10/9)	雨宮 前田
	伊木山ガーデン	生産課題解決演習Ⅰ視察 (10/9)	雨宮 前田
	ぎふフラワー研究会	フランネルフラワー研究会 (5/23) フランネルフラワー目揃会 (2/13)	雨宮

－ 2 学校運営 －

区分	連携先	連 携 内 容	教職員名
(花き生産)	清流の国ぎふ花と緑の振興センター	スマート農業研修視察 (11/21)	雨宮
	岐阜県農業技術センター		
	岐阜県スマート農業推進センター		
	東谷山フルーツパーク	生産課題解決演習 I 花販売 (12/20)	前田 雨宮
	可茂地区4Hクラブ、 可茂地区青年農業士 会、可茂農林事務所	「未来の農業分野を支える同志へ」～国際園芸 アカデミー学生&若き農業者 台本なしガチト ーク (1/27)	前田 雨宮
(花き生産・ 花き装飾)	ぎふ花と緑の振興コ ンソーシアム	岐阜県産花きの需要拡大検討会 (11/11)	前田 林
(花き装飾)	岐阜生花市場協同組 合	フラワー装飾演習視察(4/7)	林
	ぎふワールド・ロー ズガーデン	園芸装飾実習 I 視察 (4/23)	村瀬
	中京花卉園芸農業協 同組合	ウエディング実習視察 (7/14) フラワービジネス演習視察 (11/5, 7, 12/3, 15)	林 吉田
	フローラル花夢館 神戸町店	フラワーデザイン実習 I 花束とアレンジメント制作 (9/10)	林 吉田
	安城産業文化公園デ ンパーク	園芸装飾実習 II 視察 (10/16)	吉田 村瀬
	日本フラワーデザイ ナー協会岐阜県支部	花育講座：美濃加茂市立加茂野小学校 (11/18) 岐阜市立島小学校 (11/28) 可児市立今渡北小学校 (12/8) 岐阜市立柳津小学校 (12/16)	村瀬
	国営木曽三川公園 フラワーパーク江南	卒業研究・卒業制作Xmas ディスプレイ (11/26 制作、展示 12/6～12/25)	村瀬
	(一社)JFTD 花キュー ピット三重支部	みえ花とみどりのふれあいフェスタ 花販売 (12/6, 7)	林
(花き生産・ 造園緑化)	関ヶ原ゼネラル・サ ービス株式会社	関ヶ原開戦地景観整備事業連携 フジバカマの定植 (4/19)	学長 前田 雨宮
		フジバカマ刈取り・ポプリ作りワークショップ (11/22)	学長 前田 雨宮
(造園緑化)	株式会社岐東庭園	入学式出席 (奨学金支援団体) (4/9) 海外視察研修報告会視聴 (9/26) 卒業式出席 (奨学金支援団体) (3/3)	学長
	尾張でお庭展実行委員会	尾張でお庭展 出展 (4/19, 20)	新井
	株式会社竹藤商店	尾張でお庭展 企業出展ブースデザイン (4/19, 20)	新井
	可児造園協同組合	緑の環境プラン大賞庭園施工協力に対して感謝 状の贈呈 (5/16) 総会 (5/21) 新春懇談会 (1/21)	学長
	西垣林業株式会社	緑の環境プラン大賞ウッドデッキ材料寄付に対 して感謝状の贈呈 (6/14)	学長

- 2 学校運営 -

区分	連携先		教職員名
	ヤハギ緑化株式会社	資材寄付に対する感謝状の贈呈 (10/7)	学長
(造園緑化)	可児市建設業連合会 可児造園協同組合	初夏のロードプレーヤー (6/21)	学長
		秋のロードプレーヤー (11/15)	
	(一社)横浜市造園協会	第42回全国都市緑化ぎふフェア「GREEN×EXPO2027」PR 出展花壇づくり (4/8, 5/16)	学長 前田 雨宮 新井
		感謝状の贈呈 (10/15)	学長
	(一社)日本公園緑地協会	公園管理運営士認定委員会 (4/11, 8/27)	学長
	(一社)日本公園施設業協会中部支部	定期総会・記念講演会(5/9)	学長
	(一社)公園管理運営士会	大会・公開セミナー(5/23) 理事会 (3/18)	学長
	(一社)愛知県造園建設業協会	総会 (5/29)	学長
	(一社)岐阜県造園緑地協会	技能検定実技講習会 (6/21)	学長 新井
	(一社)公園管理運営士会中部支部	総会・講演会 (6/24) 都市公園法 講義 (12/12)	学長
	(一社)岐阜県造園緑化協会	総会 (9/3)	学長
	(一社)名古屋市造園建設業協会	総会 (2/9)	学長
	(一社)日本造園建設業協会	協会派遣講師による「造園業における働き方出前講座」(2/12)	顧問 学長 新井
	(公財)都市緑化機構	ぎふグリーン・ライフ フォーラム (4/26)	学長
	(一財)公園財団	理事会 (5/27, 6/18, 8/22, 3/17)	学長
	(公財)2027年国際園芸博覧会協会 神奈川県環境農政局 横浜市みどり環境局	感謝状の授与 (10/15)	学長
	全国一級造園施工管理技士の会 (一造会)	関西研修 (5/16, 17) 第42回全国都市緑化ぎふフェア視察・総会 (5/30) 東山動植物園視察 (5/31) 事業報告会 (12/5)	学長
	全国女性造園技術者の会	総会・花と緑を語る会(5/24)	学長
	全国一級造園施工管理技士の会 (一造会) 東海・北陸支部	設立総会 (9/27)	学長

- 2 学校運営 -

区分	連携先	連 携 内 容	教職員名
(その他)	可茂地区指導農業士会	通常総会 (5/2) 年末交流会 (12/16)	副学長
	岐阜地域留学生交流推進協議会	総会 (7/3) 運営委員会 (3/17)	井戸
	ぎふワールド・ローズガーデン指定管理者	運営協働会議 (8/4)	学長
	百年公園指定管理者	運営協働会議 (11/21)	学長
	JR 岐阜駅周辺施設連携促進協議会	花で彩るクリスマス (12/17~26)	新井

(2) 教育機関

区分	連携先	連 携 内 容	教職員名
(大学)	岐阜大学 応用生物科学部	岐阜県域農林業教育システム連携協力会議 (第31回：7/1, 第32回：11/14)	学長
		第13回岐阜県域農林業教育システム研究発表 交流会 (1/24)	学長 前田 雨宮
	愛知学院大学	講義 (1/8)	学長
(高校)	加茂農林林高校	珪藻土ウレタンを使った多肉植物商品開発 (4/2, 11/12)	前田
		アカデミー学校説明会 (概要説明、施設案内) (5/15)	教務係
		商品開発協力 (多肉植物のマイクロ寄せ植え) (5/28)	前田
		地域課題探求型学習推進事業協議会(6/2, 2/17)	副学長
		なんじゃ祭出店 (6/7)	吉田
		(一社)日本造園建設業協会出前講座 (2/12)	学長 新井
	恵那農業高校	学校運営協議会 (6/13, 11/23, 1/27)	副学長
		アカデミー活動成果報告会参加 (2/10)	学長
	郡上高校	アカデミー学校説明会 (概要説明、施設案内) (6/25)	教務係
		育種・香り抽出研究課題に対する協力	前田
		学習成果報告会 (2/26)	雨宮
	岐阜県内7農業高校 (岐阜県農業大学校)	緑の学園 (農業高校2年生に対する進路紹介) (9/9)	副学長 各コース 教員
	岐阜県下農業高校	第76回岐阜県学校農業クラブ連盟県大会 (意見発表会) 審査員 (7/3)	副学長
	大阪府立農芸高校	第20回若年者ものづくり競技大会出場へ向け て、合同練習 (8/2)	新井
	東海ブロック学校農 業クラブ連盟	令和7年度 東海ブロック学校農業クラブ連盟 ブロック大会プロジェクト発表会審査長(8/5)	副学長
(農業大学 校)	岐阜県農業大学校	授業『経営設計 (園芸)』講師 (5/23, 6/10, 6/19, 9/1)	佐藤
		農大生によるなんじゃ祭での野菜販売 (6/7)	佐藤
		アカデミー学生による農大祭での花苗等販売 (11/3)	前田 吉田

(3) 行政機関等

区分	連携先	連携内容	教職員名
(審議会・委員会)	岐阜県	全国都市緑化ぎふフェア実行委員会第3回総会 (12/18)	学長
	各務原市	各務原市緑審議会 (8/1)	顧問
		各務原市景観審議会 (2/13)	学長
	名古屋市	名古屋市瑞穂公園広場及び地下駐車場整備事業総合評価委員会議 (12/3, 1/7, 2/27)	学長
		名古屋市瑞穂公園PFIアドバイザー会議 (1/30)	
	一宮市	公募対象公園施設設置等予定者選定委員会(10/3, 1/29)	学長
	刈谷市	第2回刈谷市総合運動公園整備管理運営事業提案評価委員会 (8/1)	学長
	豊田市	鞍ヶ池公園評価委員会 (8/28)	学長
	静岡市	大浜公園完成記念式典 (7/16)	学長
		第3回用宗緑地Park-PFI事業者選定委員会 (9/17) 静岡市都市公園審議会 (12/24)	
	(一財)公園財団	国営木曾三川公園 自己点検評価委員会 (12/19)	学長
国土交通省 中部地方整備局	国営木曾三川公園基本計画アドバイザー会議 (2/3)	学長	
(一財)日本公園緑地協会	公園管理運営士認定委員会 (8/27, 1/23)	学長	
区分	連携先	連携内容	教職員名
(講師)	岐阜県 中日新聞社	F B C 岐阜県委員会指導者講習会 (5/19)	新井 前田
	全国女性造園技術者の会 (Green-Web)	総会&花と緑を語る会にて講演 「花と緑の仕事、その喜びを共に～専門学校における人材育成～」 (5/24)	学長
	特定非営利活動法人 中之郷を花いっぱいにする会	法人設立総会後の懇談会にて講話 「花のチカラ」 (9/22)	学長
	(一財)公園財団	2025年公園管理運営士 更新講習 講師 (10/17)	学長
	岐阜市畜産センター	クリスマスリースづくり講座 講師	村瀬
	(一社)公園管理運営士会中部支部	都市公園法講習会 (12/12)	学長
	愛知学院大学	講義 (1/8)	学長
	岐阜市畜産センター	寄せ植え講座 講師	吉田
	可児市 今渡地区センター	今渡キャンパス (学習講座) 「花束作り」 (3/13)	雨宮 林
区分	連携先	連携内容	教職員名
(審査)	岐阜県 中日新聞社	F B C 岐阜県委員会中央審査 (9/29, 30, 10/1)	井戸 学長
		令和7年度フラワー・ブラボー・コンクール (F B C) 表彰式 (11/22)	学長

- 2 学校運営 -

区分	連携先	連携内容	教職員名
(審査)	可児市	第32回可児市花いっぱい運動花壇コンクール審査会(7/2)	学長
	東海地域花き普及・振興協議会 愛知豊明鉢物流通改善協議会	東海鉢物品評会 2025 鉢花・蘭の部 審査員 (11/12)	前田
	三重県農林水産部	2027年国際園芸博覧会 屋内出展 展示デザインコンクール 審査 (3/24)	林
区分	連携先	連携内容	教職員名
(視察対応)	成都農業科学技術職業学院	概要説明・施設案内 (5/29)	学長
	知多オープンガーデン	概要説明・施設案内 (5/30)	学長 井戸
	可茂地域の市町村と県職員との連携・交流を図る研修会	概要説明・施設案内 (6/5)	副学長 伊藤 田中
	富山県緑化造園土木協会	概要説明・施設案内 (6/7)	学長
	横浜市造園協会	概要説明・施設案内 (6/12)	学長 井戸
	中国精華大学建築学部景観学系	概要説明・施設案内 (9/1)	学長 井戸
	中部地方整備局	概要説明・施設案内 (9/1)	学長
	名城公園フラワープラザ (岩間造園株式会社)	ボランティア研修として講話・施設案内 (10/27)	学長 井戸
	かわい幼稚園	学校案内 (10/29)	前田 岩井
	可児市スマイリングルーム	学校案内・シクラメン葉組み体験 (11/18)	前田 伊藤
	上海華徳園造園科技有限公司	学校概要説明、施設案内 (12/17, 18)	学長 井戸
	淡路景観園芸学校	学校概要・生涯学習講座概要説明、施設案内 (3/27)	学長
区分	連携先	連携内容	教職員名
(関連行事)	岐阜県	第42回全国都市緑化ぎふフェア開会式 (4/26) 令和7年度全国都市緑化祭レセプション(5/20) 令和7年度全国都市緑化祭 記念式典 (5/21) 第42回全国都市緑化ぎふフェア閉会式 (6/15)	学長 顧問
	十六銀行	FC岐阜十六銀行サンクスマッチの応援イベントにてハーバリウム体験ブースを出展 (7/21)	学長 林
	岐阜県	県農業フェスティバル 学校紹介展 (10/25, 26)	岩井
	JR岐阜駅周辺施設連携促進協議会 (岐阜県)	J R岐阜駅・アクティブG クリスマス花飾りイベント「花で彩るクリスマス」 (12/18~25)	新井
	岐阜県	第74回関東東海花の展覧会岐阜県ブース (1/30~2/1)	岩井
岐阜県園芸特産振興会	フラワーバレンタイン (県庁、可児市、美濃加茂市) (2/13)	林 教務係	

資料2-7 連携・協定締結自治体・企業との取組み (令和7年度)

(1) 自治体

自治体名	期日	内 容	教職員名
大野町	5/14	令和7年度フラワー都市交流連絡協議会総会・交流会 (大野町)	学長
	6/17	生涯学習講座聴講(今を知る「公園管理運営の〝心〟」、講師:学長)	岩井
	7/15	生涯学習講座聴講(今を知る「街路樹と維持管理」、講師:学長)	岩井
	3/5	大野町との協定協議	学長
関市		学校行事報告会視聴(9/26, 10/31, 12/2, 2/4, 2/10, 3/10)	岩井
可児市	4/9	可児副市長 入学式出席	学長
	5/1	可児市花いっぱい運動・花の育て方講座	新井
	6/3	バラ議会 バラ鉢のラッピング (6/5 議会)	村瀬
	6/10	バラ議会 バラ鉢のラッピング (6/12 議会)	村瀬
	6/26	バラ議会 バラ鉢のラッピング (6/27 議会)	村瀬
	7/2	可児市花いっぱい運動・花壇コンクール審査	学長
	8/8	可児市議会(議長、副議長)挨拶来校	副学長
	10/24	可児市花いっぱい運動・花の育て方講座	新井
	11/18	かっこ体験講座(シクラメン葉組み体験)	前田・伊藤
	2/13	フラワーバレンタイン ブーケ作成・提供	岩井
	3/3	可児市長 卒業式出席	学長
3/13	可児市今渡地区センター講座 講師	雨宮 林	
美濃加茂市	4/9	美濃加茂市長から入学式祝電	学長
	6/7	美濃加茂市長 アカデミー学園祭(なんじゃ祭)来場	学長
	6/13	美濃加茂市まちづくり出前講座の講師派遣	佐藤
	10/9	技能五輪大会出場学生的美濃加茂市長表敬訪問	学長
	2/13	フラワーバレンタイン ブーケ作成・提供	岩井
	3/3	美濃加茂市長から卒業式祝電	学長
各務原市	8/1	各務原市緑審議会	顧問
	2/13	各務原市景観審議会	学長
共通	4/17	アカデミー学生募集要項・ポスター送付(ポスター掲示)	教務課
	9/26	Web 配信 海外視察研修報告会(関市)	
	10/31	Web 配信 インターンシップⅢ報告会(関市)	
	12/2	Web 配信 インターンシップⅠ報告会(関市)	
	2/4	Web 配信 卒業研究・卒業制作発表会(関市、大野町、可児市)	
	2/10	Web 配信 活動成果報告会(関市、大野町)	
	3/10	Web 配信 教員企業研修報告会(関市)	

- 2 学校運営 -

(2) 企業

企業名	期日	内 容	教職員名
昭和造園 土木 株式会社	4/9	入学式出席（奨学金支援団体）	学長
	4/24	企業説明会参加	学長
	4/24 4/30 5/15	造園施工・管理実習他（非常勤講師：池上東平氏）	新井
	4/30 5/23	造園工学・施工論（非常勤講師：日比真一氏）	新井
	6/17	生涯学習講座聴講（今を知る「公園管理運営の“心”」講師：学長）	岩井
	7/4	昭和造園土木奨学金奨学生決定通知書授与式（花束贈呈）	学長
	7/7	百年公園の花飾り（ドライフラワースワッグ）	林
	7/15	生涯学習講座聴講（今を知る「街路樹と維持管理」講師：学長）	岩井
	7/27	昭和造園土木株式会社技術研修に学生3名参加	新井
	8/6	教育課程編成委員会出席	学長
	9/4	生涯学習講座聴講（今を知る「公園緑地に関わる法令」講師：学長）	岩井
		インターンシップⅢで学生1名受入（10/1～10/22のうち15日間）	前田
	10/8	百年公園の花飾り（ハーバリウム）	林
		インターンシップⅠで学生1名受入（11/4～11/18のうち10日間）	新井
	11/18	教育課程編成委員会出席	学長
	12/5	畜産センタークリスマスリース講座 講師派遣	村瀬
	12/5	百年公園の花飾り（クリスマスアレンジメント）	林
	2/4	卒業研究・卒業制作発表会視聴	岩井
	2/10	活動成果報告会視聴	岩井
	2/18 2/26 2/27	造園施工管理実習Ⅱ（非常勤講師：池上東平氏）	新井
	2/25	畜産センター寄せ植え講座 講師派遣	吉田
	3/3	卒業式出席（奨学金支援団体）	学長
	3/10	教員企業研修報告会視聴	岩井
	インターンシップⅡで学生1名受入（3/12～3/18のうち5日間）	新井	
株式会社 ケーブル TV可児	6/7	「CTKタイムズ・かにみた」でなんじゃ祭の放送 6/18：2回、6/19～6/24：各日4回、6/25：2回 計28回放送	伊藤
	6/23	ケーブルTV可児の花飾り（ヨーロピアンデザイン）	林
	7/3	なんじゃ祭放映番組データ寄贈	学長
	7/28	ケーブルTV可児の花飾り（苔玉）	林
	7/29	ケーブルTV可児の花飾り（押し花）	林
	10/9 10/31	「CTKタイムズ・かにみた」で技能五輪全国大会出場学生の取組について放送 11/26：2回、11/27～12/2：各日4回、12/3：2回 計28回放送 ケーブルTV可児公式YouTubeチャンネルにて配信	村瀬・吉田
	12/5	ケーブルTV可児の花飾り（クリスマスアレンジメント）	林
	12/26	ケーブルTV可児の花飾り（正月アレンジメント）	林

資料 2-8 教職員の研修（令和 7 年度）

(1) 指導力・資質向上のための研修

受講日	主催者	研修内容	受講者
4/26	岐阜県、（公財）都市緑化機構	ぎふグリーン・ライフ フォーラム トークセッション「自然と共生したウェルビーイングな暮らし」	学長
4/28	ぎふ花と緑の振興コンソーシアム	講演「花きに関する情報提供」	副学長
5/9	（一社）日本公園施設業協会 中部支部	講演会「公園緑地行政の最近の動向」 について、「GREEN×EXP02027」について	学長
5/16, 17	一級造園施工管理技士の会	現地説明「万博のランドスケープについて」 「グラングリーン大阪のランドスケープについて」	学長
5/23	（一社）公園管理運営士会	公開セミナー「公園緑地行政をめぐる 話題」「公園管理運営士の社会的役割について」 「都市公園とコミュニティ」	学長
5/24	全国女性造園技術者の会 （Green-Web）	「県営公園の指定管理業務」・「国営公園の管理運営業務」について	学長
5/30, 31	全国 1 級造園施工管理技士の会	ぎふワールド・ローズガーデン、東山 動植物園 園長補佐による解説での現地視察	学長
6/12	東海農政局	農薬適正使用に関する研修会	前田
6/21	（一社）岐阜県造園緑化協会	造園技能検定実技試験講習会	新井
6/22	岐阜県フラワー装飾技能検定協議会	実技特別講習会	村瀬
6/24	（一社）公園管理運営士会中部支部	講演会「江戸の園芸文化」、事例発表 紹介「豊田市鞍ヶ池公園の管理運営について」	学長
7/3	岐阜地域留学生交流推進協議会	文部科学省講演「留学生政策をめぐる 現状と取組」	井戸
8/22	（一財）公園財団	講演会「未来を見つけるSDGs時代の社会 づくりの実践」	学長
9/3	岐阜県	講演「農業政策を考える視点-豊かで持続可能な農業を実現するために-」	井戸 伊藤
9/29	岐阜県・岐阜県職業能力開発協会	講演「技能五輪世界大会に出場して」	吉田
10/18	日本樹木医東海地区協議会・ 岐阜県支部	講演「倒木危険度の診断調査」 講演「本巣市指定天然記念物春日神社 の大杉の診断」	学長
11/6, 7	公園緑地公民連携研究会	名古屋市鶴舞公園・久屋大通公園、 大阪市難波宮跡公園 視察	顧問 学長

－ 2 学校運営 －

受講日	主催者	研修内容	受講者
11/18	岐阜県 岐阜県能力開発協会	第46回岐阜県職業能力開発促進大会講演会「伝統技術を次世代に継ぐ」	村瀬
12/5	全国1級造園施工管理技士の会	事業報告会	学長
1/26	公園緑地公民連携研究会	公民連携による公園緑地の柔軟な活かし方	学長
2/14	(一社)日本造園組合連合会	造園実習指導力向上研修会 技能研修コースに参加	新井
3/7	国営木曾三川公園 フラワーパーク江南	クリスマスローズ講演会	前田
3/8	(公財)名古屋市みどりの協会	緑の講演会 花開く江戸の園芸文化	学長
3/24	一人一花推進事業実行委員会	福岡フラワーショー	学長

(2) 教員企業研修

専攻 コース	受講 教員	研修先企業等 (所在地)	研修日	研修内容
花き生産	前田 准教授	横山園芸 (東京都)	7/30 7/31	・近年、花き生産業界においては食用の花「エディブルフラワー」に注目が集まっており、観賞用以外の生産品目としてのエディブルフラワーのトレンドや、生産・流通方式を調査した。得られた知見を花き生産コースの授業・実習の中で、新たな植物の利用方法として活かす。
		me babygreens&edibleflowers (愛知県)	1/7	・エディブルフラワーの生産・流通についての聞き取り調査を行った。また、生産施設の特徴について説明を受け、育苗～出荷までの流れを現地で視察した。無農薬・化学肥料不使用の栽培で重要な培養土のリサイクル工程について、業務体験をした。
	雨宮 講師	有限会社市橋ローズナーセリー (瑞穂市)	10/10	・切バラ栽培において、品種、品質、データ活用により他社との差別化を実践している現場での視察、聞き取りを実施。技術と知識を習得し、授業に活用できる情報取得を行った。
	若原農園 (大野町)	10/29	・花き（切り花フランネルフラワー、セルリアなど）及び野菜、柿の複合経営生産者で、フランネルフラワーは年間6万本程度を出荷している。高温対策や病害虫対策、出荷調整等の技術情報を収集した。	
		有限会社高橋技研 (岐阜市)	1/9	・独立ポット方式のガーベラ栽培について、用土、養液、品種等の技術情報収集。また、作業の効率化、資材・燃料の高騰対策、異常気象への対応等生産者の抱える課題を聞き取り、今後の学生指導に反映させる。
花き装飾	吉田 准教授	NPO法人 Green Works (東京都)	7/14 8/5 8/7	・NPO法人が官(市)からの依頼でコミュニティガーデンを運営・アドバイスしていることを体感。ローメンテナンス花壇管理、夏の暑さに耐えられる植栽方法や持続可能なコミュニティガーデンの運営方法について今後の授業、生涯学習講座に反映させる。

－ 2 学校運営 －

専攻 コース	受講 教員	研修先企業等 (所在地)	研修日	研修内容
花き装飾	林 准教授	株式会社プランツパートナー 大田店 (東京都)	5/5	・切花のセリを案内してもらい、仲卸し で切花を視察。仲卸しでは、グリーンが とても豊富で、今後もっとキャンパスに あるグリーンの活用性を高めていき たい。また、草花の新品種など情報が得ら れた。グリーンでの空間の演出の仕方な どフラワーデザインや卒業制作の指導に 生かせる内容を学んだ。
			5/6	
	1/26			
	村瀬 助教	岐阜県フラワー装飾技能検定協 議会 (岐阜市)	6/22	・フラワー装飾技能検定実技講習会へ参 加し、検定の審査員から実際に指導を受 けた。審査時に注目される点が受講前よ り明確となり、今後の指導に活かす。
		株式会社天翔苑 (岐阜市)	11/11 12/24	・葬儀専門の企業で研修を受けたこと で、フューネラルという職種の仕事内容 全般や、業界についてより詳細を知るこ とができた。
造園緑化	新井 准教授	大分短期大学(学校法人平松学 園) (大分県)	10/9 10/10	園芸、造園、自然環境を専門とする園芸 科単科の短期大学のカリキュラム内容、 授業の様子、各種プロジェクトの取り組 みなどを視察、聞き取りを行った。当学 のカリキュラムや課外活動等に反映させ る。
		株式会社オフィスショウ	10/28	芝生の造成手法、管理手法について習得 することができた。造園施工・管理実習 において、芝生の授業の際に今回得た知 見を授業に反映する。
マネージ メント等	佐藤 准教授	慶應義塾大学大学院経営管理研 究科ケースメソッド授業法研究 普及室 (神奈川県)	8/3	・受講生としてのケースメソッド教育を 追体験し、様々な参加者とともに「多様 性」を討論した。「直面する課題の本質 (問題発見)」「その課題への対処(問題解 決)」への気付きを与える、発見や解決に 正しい知識が必要となる場合があること を理解させ学習への動機づけを行なう等 の場面でのケース授業の有用性を再確認 した。
		株式会社いりどり (徳島県)	10/1 10/2	上勝町の施設見学、事業のプレゼンテー ションを聞き、農家2軒を視察。「いり どり」の成功の本質は、マーケティング 情報等が得られる情報ネットワークシス テムそのものにあるのではなく、それを 機能させる「自己決定」と「事業のゲーム性 (戦略性)」にある。ビジネス事例の授業へ の組み入れや、学生の学習意欲活性化に 知見を活かす。

－ 3 教育活動 －

資料3-1 学生の授業評価アンケート結果 (令和7年度)

○ 令和7年度 前期 (マイスター科1年生)

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均		授業満足度	
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	R7	R6	R7	R6
1	栽培・生産論	必修	花き生産流通	30	雨宮	22	①土壌の性質及び肥料の働きについて習得する	82.3	②病害虫対策について習得する	83.2	③かん水システムの特徴について習得する	84.1			83.2	87.5	3.7	3.8
2	植物生理学	必修	花き生産流通	30	前田	22	①植物体の構造とそはたらきを理解する。	83.6	②植物の代謝及びその制御方法を理解する。	82.7	③環境制御による植物のライフサイクルの調節方法を理解する。	82.7	④花の老化の仕組みおよび老化を防止する方法を理解する。	84.1	83.3	88.2	3.5	3.8
3	花き生産実習	必修	花き生産流通	90	前田	22	①花きの繁殖方法を理解する	85.9	②花の栽培管理を習得する	86.4	③花きの出荷調整を習得する	85.0	④チームワークの重要性を理解する	87.3	86.1	89.6	3.6	3.8
4	園芸流通概論	必修	花き生産流通	30	雨宮	22	①国内外の花きの生産状況を理解する。	84.1	②卸売市場や農協の中間業者の役割と機能を理解する。	84.1	③現場視察を通して、最新の情報や商品に触れて、園芸品目の流通を理解する。	85.0	④花きの小売店の現状や課題を理解する。	83.6	84.2	87.6	3.7	3.7
5	園芸装飾実習Ⅰ	必修	花き装飾	30	村瀬	22	①生活空間での植物の装飾方法および家庭園芸での植物の維持管理方法を理解する。	83.6	②制作した寄せ植えハンギングバスケットなどを長期メンテナンスすることによって、管理方法を習得する。	83.2	③園芸装飾実技試験のデモンストラーションを通して、観葉植物を使用した装飾方法を習得する。	82.7	④春から秋にかけての植物の管理方法を習得する。	83.6	83.3	86.8	3.5	3.6
6	フラワーデザイン実習Ⅰ	必修	花き装飾	60	林	22	①フラワーアレンジメントの基本技術を習得する。	83.2	②花束の基本技術を習得する。	83.2	③フラワーデザインについての基本知識を習得する。	83.2			83.2	89.3	3.6	3.8
7	3級園芸装飾技能検定対策実習	選択	花き装飾	30	村瀬	11	①3級園芸装飾技能検定合格水準の技術力を習得する。	86.0	②3級園芸装飾技能検定合格水準の園芸装飾に関する知識を習得する。	85.0					85.5	93.1	3.7	4.0
8	3級フラワー装飾技能検定対策実習	選択	花き装飾	60	安保	10	①3級フラワー技能検定の合格水準の技術力を習得する。	89.3	②学科試験のためのフラワーデザインに関する知識を習得する。	90.7					90.0	90.6	3.9	3.8
9	造園学概論	必修	造園緑化	30	今西	22	①造園の全体像について理解する。	85.0	②日本と海外の庭園・造園やわが国の公園制度などについて理解する。	84.1	③実際に造園空間を見学することにより、様々な造園空間に対する知識を習得する。	85.0			84.7	86.4	3.6	3.6
10	花修景実習Ⅰ	必修	造園緑化	30	吉田	22	①植物の成長と管理方法を継続的に記録することができる。	81.7	②花壇の計画ができる。	82.6	③花を使った修景空間の視察調査を報告することができる。	82.6			82.3	86.4	3.6	3.5
11	造園施工・管理実習Ⅰ	必修	造園緑化	60	新井	22	①造園施設(竹垣、敷石、レンガ舗装など)の施工ができる。	85.0	②造園植物(樹木、下草、芝生など)の生育特性を踏まえた管理ができる。	84.0	③グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームで作業できる。	86.0			85.0	88.1	3.8	3.7
12	3級造園技能検定対策実習	選択	造園緑化	60	新井	8	①実技試験(製作等作業試験)に関し、規定時間内に規定の寸法どおりにおおむね完成することができる。	85.0	②実技試験(判断等試験)に出題される樹木をおおむね判別することができる。	87.5	③学科試験の合格水準に達する程度の知識を習得する。	86.3			86.3	92.6	3.6	4.0
13	商品動向リサーチⅠ	必修	マーケティング	15	村瀬	22	①春夏期、上位150品目について、学名や原産地や特徴や管理方法などを知る。	79.8	②図鑑やインターネットを利用した植物の調べ方を知る。	86.9	③150品目のデータベースを作成できる。	87.4			84.7	87.6	3.5	3.7
14	植物管理基礎実習Ⅰ	必修	植物管理	60	前田	22	①春・夏期における植物の種類による管理方法の違いを理解する。	85.0	②春・夏期における灌水技術を習得する。	85.0	③春・夏期における温室の管理技術を習得する。	85.0			85.0	89.1	3.7	3.8
15	Global Communication in Horticulture Ⅰ	必修	国際性	30	大脇	22	① 英語の基本的な文法を反復練習にて習得する。	81.7	② 自己紹介、挨拶等スモールトークができる。	83.6	③ 他国について学ぶ中で、自国や自分自身への理解を深める。	83.1	④ 教科書の英文から各章の内容に沿って、英国を理解するために必要な情報を読み取ることができる。	80.7	82.3	84.5	3.3	3.3

－ 3 教育活動 －

○ 令和7年度 前期（マイスター科2年生）

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均		授業満足度	
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	R7	R6	R7	R6
1	生産マネージメント実習Ⅱ	選択	花き生産流通	120	前田	7	施肥設計や品目、品種設定ができる。	79.3	温室の栽培管理ができる。	79.3	年生指導を通じてリーダーシップを理解する	73.6	作業内容のふり返りと必要な改善項目の報告ができる	76.4	77.1	85.0	3.1	3.3
2	生産課題解決演習Ⅱ	選択	花き生産流通	60	雨宮	6	適切な課題研究テーマと調査内容を選択できる。	83.3	課題研究を通じて課題解決力を習得する。	80.0	課題研究成果を総括し、正しく伝えることができる	75.0			79.5	88.2	3.0	3.0
3	基礎育種学	選択	花き生産流通	30	前田	11	植物の遺伝の仕組みを理解する。	80.6	様々な育種の方法について知る。	85.0	交配育種に必要な基本的知識および技術を習得する。	83.9			83.1	86.9	3.6	3.5
4	フラワー装飾演習	選択	花き装飾	60	林	11	空間を花で飾る技術を習得する。	85.9	花き装飾の歴史的かつ文化的行事などの知識を習得する。	84.1	花の原価について知る。	83.2	フローリストとしての発想力や応用力を習得する。	85.0	84.5	81.7	3.7	3.4
5	ウェディング実習	選択	花き装飾	30	脇田	10	デザイン力、提案力、応用力を習得する。	87.0	ウェディング装花のトータルコーディネートを経験し、空間を花で飾る技術を習得する。	87.0	チームワーク、コミュニケーション能力の重要性を理解する。	91.0	ウェディングの基礎知識を習得する。	87.0	88.0	85.0	3.9	3.8
6	フューネラル実習	選択	花き装飾	30	村瀬	11	デザイン力、提案力、応用力を習得する。	86.8	フューネラル装花のトータルコーディネートを経験し、空間を花で飾る技術を習得する。	87.7	チームワーク、コミュニケーション能力の重要性を理解する。	88.6	フューネラルの基礎知識を習得する。	88.6	88.0	85.6	3.9	3.7
7	装飾技術スキルアップ実習	選択	花き装飾	45	吉田	11	フローリストとしての発想力や応用力を習得する。	85.0	フローリストとしてフラワーデザインに関する知識を習得する。	85.0	課題に取り組むことでフローリストとしての作業所作を習得する。	85.0			85.0	84.8	3.6	3.6
8	2級園芸装飾技能検定対策実習	選択	花き装飾	30	林	1	2級園芸装飾技能検定合格水準の技術力を習得する。	85.0	2級園芸装飾技能検定合格水準の園芸装飾に関する知識を習得する。	85.0				85.0	88.2	4.0	4.0	
9	2級フラワー装飾技能検定対策実習	選択	花き装飾	60	新山	11	2級フラワー装飾技能検定の合格水準の技術力を習得する。	88.6	学科試験のためのフラワーデザインに関する知識を習得する。	88.6				88.6	89.5	3.6	3.9	
10	花修景実習Ⅲ	選択	造園緑化	30	新井	12	有料公園における花修景の植栽計画・植物の特性・年間管理を理解する。	85.0	グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームで作業できる。	85.8				85.4	86.0	3.6	3.1	
11	造園施工・管理実習Ⅲ	選択	造園緑化	60	新井	4	造園施設（園路舗装、建仁寺垣などの）施工ができる。	92.5	造園植物（樹木、下草、芝生など）の生育特性を踏まえた管理ができる。	92.5	グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームで作業ができる。	90.0			91.7	86.8	4.0	3.2
12	造園総合実習	選択	造園緑化	90	新井	4	造園空間の計画・設計・施工までの一連の作業の流れを理解することができる。	92.5	これまで他科目で学んだことを本科目で活かして実習することができる。	92.5	グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームで作業ができる。	92.5			92.5	89.6	3.8	3.4
13	2級造園技能検定対策実習	選択	造園緑化	45	新井	3	実技試験（製作等作業試験）に関し、規定時間内に規定の寸法どおりにおおむね完成することができる。	91.7	実技試験（判断等試験）に出題される樹木をおおむね判別することができる。	91.7	学科試験の合格水準に達する程度の知識を習得する。	91.7			91.7	89.8	4.0	3.5
14	造園工学・施工論	選択	造園緑化	30	新井	4	造園材料や施工方法について理解する。	92.5	施工管理について理解する。	92.5				92.5	80.0	3.8	3.0	
15	SNSプロモーション	選択	マーケティング	30	中村	10	YouTubeの仕組みを理解する	81.0	クリップチャンプ等の動画作成アプリを使って動画編集できる	81.0	YouTubeにプロモーション動画（作品）をアップロードできる	82.0			81.3	86.5	2.2	3.4

－ 3 教育活動 －

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均		授業満足度	
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	R7	R6	R7	R6
16	キャリアデザインⅡ	必修	マネージメント	30	佐藤	20	卒業後の現実的なライフプランニング(生活費と給与)を知り理解する。	84.5	建設的なディスカッションを体感し、協働の必要性を理解する。	86.6	労働法、家計・給与、資産形成に関する基本的な知識を習得する。	85.0			85.4	83.5	3.6	3.3
17	基本簿記	選択	マネージメント	30	佐藤	16	簿記の基礎を理解する。	83.7	期中(開始日から終了日までの間の期間)の処理(仕訳、転記、試算表)及び伝票制を理解する。	83.0					83.3	81.3	3.4	3.2
18	園芸文化研修	選択	文化・利用	30	今西	16	日本の園芸・庭園文化を体感し、自らの見識を養い理解する。	87.5	これまでに学んできた「花と緑」に関する知識や技能と園芸・庭園文化との繋がりを理解する。	86.9	園芸・造園の社会的意義を知り、長い歴史に培われて来た文化的景観を理解する。	86.3			86.9	88.0	3.6	3.7
19	盆栽実習	選択	文化・利用	15	福本	14	盆栽の歴史、精神性について知る。	86.7	盆栽の剪定、針金掛け、植え替えを習得する。	86.7	盆栽を通して自然観を表現できる。	86.7			86.7	85.4	3.6	3.4
20	植物管理基礎実習Ⅲ	必修	植物管理	30	前田	20	春・夏期における植物の種類による管理方法の違いを理解する。	88.0	春・夏期における灌水技術を習得する。	88.0	春・夏期における温室の管理技術を習得する。	87.0	上記の知識・技術を他者に伝達する能力を習得する。	86.5	87.4	88.0	3.7	3.4
21	海外視察研修	必修	国際性	90	村瀬	20	研修テーマを設定し、テーマに応じた調査ができる。	88.0	視察先で説明者の説明を傾聴し、メモをとるなど知識を習得し、国際感覚を養うことができる。	87.0	視察先での学びや気づきを日報にまとめる事ができる。	89.0	研修内容をとりまとめ、報告することができる。	87.5	87.9	87.4	3.7	3.4
22	インターンシップⅡ	選択	就業体験	60	各コース教員	6	社会人としての基本的礼儀、協調性、働く姿勢、実務を習得する。	95.0	研修の目的、内容を理解し、反省点を振り返る力を習得する。	95.0	研修を振り返り、研修内容をとりまとめることができる。	93.3			94.4	89.8	4.0	3.9

1 到達度

- ・シラバスに記載されている、授業ごとに複数設定される到達目標^(※)に対して、学生がどの程度習得できたかを自己評価したもの。
- (※) 到達目標は、1つの授業に対して最大4つまで設定。
- ・学生は、以下の【評価基準】を基に、S・A・B・C・Dの5段階で到達目標ごとに自身の到達度評価を実施。
- 集計時は、[S=95、A=85、B=75、C=65、D=55]の代表値に置換え、学生個人の『到達度』を算出。
- ・『到達度平均』は、到達目標ごとの受講者全体における到達度平均値。
- ・『到達度総平均』は、授業ごとの「到達度平均」の平均値。

【評価基準】

	100	90	80	70	60	C
代表値	95	85	75	65	55	
	S	A	B	C	D	
	完全に習得できた	十分に習得できた	習得できた	概ね習得できた	習得できなかった	

2 授業満足度

- ・下記の観点で、学生が総合的に判断した満足度。

<ul style="list-style-type: none"> ・授業のテーマは明確に示されていたか ・授業の難易度は適切であったか ・教科書や配布資料、パワーポイントなど理解できるものであったか ・質問や相談ができるよう配慮されていたか ・授業を通して、新しい知識や技術を得られたか
--

- ・[十分満足(4)・満足(3)・普通(2)・不満(1)]の4段階で評価。
- ・集計時は、受講者全体の満足度平均を算出。

4	3	2	1
十分満足	満足	普通	不満

- 3 教育活動 -

○ 令和7年度 後期（マイスター科1年生）

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均		授業満足度	
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	R7	R6	R7	R6
1	イベント販売実習	必修	花き生産流通	15	前田	22	①商品企画、商品開発、販売、分析の一連の活動を理解する。	87.3	②商品ディスプレイ、POP作成など、イベント販売における店舗デザインを知る。	87.7	③接客時における接客やマナーを実践的に体得する。	86.8	④イベントにむけて共働する事によるリーダーシップ、フォローシップを理解する。	85.9	86.9	87.0	3.7	3.7
2	生産マネジメント実習Ⅰ	選択	花き生産流通	75	前田	3	①施肥設計や品目、品種設定ができる。	88.3	②温室の栽培管理ができる。	88.3	③チームワークの重要性を理解する。	88.3	④実習の課題をみつけ、改善することができる。	88.3	88.3	85.7	4.0	3.4
3	生産課題解決演習Ⅰ	選択	花き生産流通	45	雨宮	3	①適切な課題研究テーマと調査内容の選択	88.3	②課題研究を通じて課題解決力を習得する。	88.3	③課題研究成果の総括し、正しく伝えることができる。	88.3		88.3	85.0	4.0	4.0	
4	園芸装飾実習Ⅱ	選択	花き装飾	30	吉田	14	①装飾事例の調査から各自のテーマに沿った分析ができる。	83.5	②バルコニープランター・ハンギングバスケットの開花調整、メンテナンス方法を習得する。	84.2	③室内園芸装飾作品における基本的テクニックの習得をする。	83.5	④デザイン～施工～植物管理～撤去を、グループで行う事でコミュニケーション力と協調性を習得する。	86.5	84.4	86.7	3.3	3.5
5	フラワーデザイン実習Ⅱ	選択	花き装飾	60	林	12	①自ら花材を選びイメージを形にできる。	79.5	②季節の商品が制作できる。	81.4	③花に関わる季節行事を知る。	85.9		82.3	85.5	3.5	3.6	
6	花修景実習Ⅱ	必修	造園緑化	30	吉田	22	①植物の成長と管理方法を継続的に記録することができる。	85.0	②花壇の計画ができる。	82.1	③一年草、球根、宿根草、樹木などの名前や管理方法を理解する。	83.1		83.4	84.5	3.4	3.4	
7	造園施工・管理実習Ⅱ	選択	造園緑化	60	新井	13	①造園施設（景石、延段など）の施工ができる。	86.8	②造園植物（樹木、下草、芝生など）の生育特性を踏まえた管理ができる。	85.0	③グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームで作業ができる。	85.9		85.9	92.5	3.3	3.8	
8	測量実習	選択	造園緑化	30	新井	9	①測量機器の操作方法、測量データの整理ができる。	82.8	②平板測量、水準測量、地形測量の測量技術に関する知識を習得する。	82.8	③設計図から現場に位置出しができ、丁張を設置することができる。	81.7		82.4	87.0	3.3	3.6	
9	製図実習	選択	造園緑化	30	新井	9	①造園図面の基本的な作図方法を習得する。	87.2	②平面図や立面図などの造園図面を描くことができる。	87.2	③図面から実際の空間のスケール感を捉えることができる。	85.0		86.5	89.0	3.7	3.8	
10	CAD製図実習	選択	造園緑化	30	堀部	10	①CADによる2D図面が作成できる。	81.0	②CADによる3D図面が作成できる。	79.0				80.0	86.0	3.2	3.6	
11	イベントディスプレイ実習	選択	造園緑化	30	新井	12	①駅でのディスプレイについて考察し、デザインコンセプトの立案ができる。	86.7	②基本的な工具（インパクトドライバ、ラチェットレンチ、電動サンダー等）を使用することができる。	85.8	③グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションをとりながらチームで作業ができる。	89.2		87.2	89.0	3.4	3.6	
12	商品動向リサーチⅡ	必修	マーケティング	15	村瀬	22	①秋冬期、上位150品目について、学名や原産地や特徴や管理方法などを知る。	78.8	②図鑑やインターネットを利用した植物の調べ方を知る。	82.6	③150品目のデータベースを作成できる。	82.1		81.2	88.5	3.2	3.7	
13	商品開発演習	選択	マーケティング	30	小笠原	14	①園芸業界での商品開発の実際を知る。	86.4	②個人のテーマから、商品企画から商品開発までのスキルを学ぶ。	87.1	③商品開発をした商品を実店舗で販売する	85.7		86.4	87.7	3.6	3.7	
14	キャリアデザインⅠ	必修	マネジメント	30	佐藤	22	①自身の現在の『社会人基礎力』を知り、伸ばす努力ができる。	85.5	②自らの勤労観や職業観を養うことができる。	84.5			85.0	82.6	3.2	3.4		
15	起業・経営シミュレーション	必修	マネジメント	30	佐藤	22	①経営学の基本的な知識を習得する。	84.5	②企業、組織の経営について、経営学の基本的な理論を用いて考えることができる。	84.0			84.3	84.3	3.4	3.4		

－ 3 教育活動 －

16	園芸色彩学	選択	文化・利用	30	荏原	18	①色彩学の基本的な知識と園芸分野における色彩について理解する。	86.2	②花き装飾における色彩について理解する。	85.6	③造園緑化における色彩について理解する。	85.6		85.8	85.2	3.6	3.6
17	いけばな	選択	文化・利用	15	片倉	13	①いけばなの歴史を知る。	86.8	②いけばなの基本的実技を習得する。	86.8				86.8	87.5	3.7	3.6
18	園芸福祉論・実習	選択	文化・利用	30	佐々木	12	①福祉施設における園芸福祉プログラムを理解する。	86.7	②ハーブを取り入れた園芸福祉プログラムを理解する。	86.7	③地域における園芸福祉プログラムを理解する。	86.7		86.7	84.3	3.7	3.5
19	植物管理基礎実習Ⅱ	必修	植物管理	30	前田	22	①秋・冬期における植物の種類による管理方法の違いを理解する。	87.9	②秋・冬期における灌水技術を習得する。	87.4	③秋・冬期における温室の管理技術を習得する。	86.4		87.2	88.7	3.6	3.6
20	Global Communication in Horticulture Ⅱ	必修	国際性	30	大脇	21	①旅先での基本的な英会話を習得する。	83.0	②イギリスの文化、風習を知る。	86.0	③自分の専攻分野やその内容、日本の園芸文化について英語で情報発信できる。	83.5		84.2	81.3	3.4	3.2
21	インターンシップⅠ	必修	就業体験	120	※コース別	22	①社会人としての基本的礼儀、協調性、働く姿勢、実務を習得する。	89.3	②研修の目的、内容を理解し、反省点を振り返る力を習得する。	88.8	③研修内容をとりまとめ、報告することができる。	87.9		88.7	90.3	3.7	3.7

1 到達度

- ・シラバスに記載されている、授業ごとに複数設定される到達目標^(※)に対して、学生がどの程度習得できたかを自己評価したもの。
- (※) 到達目標は、1つの授業に対して最大4つまで設定。
- ・学生は、以下の【評価基準】を基に、S・A・B・C・Dの5段階で到達目標ごとに自身の到達度評価を実施。
- 集計時は、[S=95、A=85、B=75、C=65、D=55]の代表値に置換え、学生個人の『到達度』を算出。
- ・『到達度平均』は、到達目標ごとの受講者全体における到達度平均値。
- ・『到達度総平均』は、授業ごとの「到達度平均」の平均値。

【評価基準】

	100	90	80	70	60	C
代表値	95	85	75	65	55	
	S	A	B	C	D	
	完全に 習得できた	十分に 習得できた	習得できた	概ね 習得できた	習得 できなかった	

2 授業満足度

- ・下記の観点で、学生が総合的に判断した満足度。

<ul style="list-style-type: none"> ・授業のテーマは明確に示されていたか ・授業の難易度は適切であったか ・教科書や配布資料、パワーポイントなど理解できるものであったか ・質問や相談ができるよう配慮されていたか ・授業を通して、新しい知識や技術を得られたか
--

- ・[十分満足(4)・満足(3)・普通(2)・不満(1)]の4段階で評価。
- ・集計時は、受講者全体の満足度平均を算出。

4	3	2	1
十分満足	満足	普通	不満

－ 3 教育活動 －

○ 令和7年度 後期（マイスター科2年生）

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均		授業満足度	
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	R7	R6	R7	R6
1	スマート農業研修	選択	花き生産流通	15	雨宮	5	①スマート農業の基本的知識を習得する	87.0	②施設園芸の環境制御の基礎知識を習得する	83.0					85.0	87.5	3.4	3.3
2	フラワービジネス演習	選択	花き装飾	15	吉田	11	①花のビジネスモデルを知る。	92.3	②フラワービジネスにおけるコスト、マーケティングについて理解する。	93.2					92.7	87.3	3.8	3.7
3	造園概算・施工管理演習	選択	造園緑化	15	新井	4	①設計から現場施工まで造園工事の流れについて理解する。	87.5	②設計図から数量を拾うことができる。また、歩掛等を使用し、積算することができる。	90.0	③施工管理（出来形、出来高、品質管理、写真管理等）について理解する。	87.5			88.3	90.2	3.8	3.7
4	造園設計演習	選択	造園緑化	30	新井	4	①住宅庭園について正しく理解する。	91.7	②設計の基礎技術を習得する。	95.0	③実現性のあるアイデアを盛り込み提案ができる。	91.7			92.8		4.0	
5	公園・緑化概論	選択	造園緑化	15	今西	5	①都市公園・都市緑化に関する基本法令、制度についての基礎知識を習得する。	89.0	②都市環境の改善及び都市の防災性の向上等、今日の都市が直面している課題の解決に資する都市公園・緑化のあり方、都市公園における適切な維持管理運営等について知識や知見を習得する。	89.0					89.0	87.9	3.4	3.3
6	植物ビジネス論	選択	マネージメント	15	村瀬	18	①各分野の最新の事例や秀逸な取り組みを理解する。	90.0	②積極的な質問や議論を行うことができる。	87.8					88.9	86.0	3.8	3.4
7	インターンシップⅢ	必修	就業体験	150	各コース教員	20	①社会人としての基本的礼儀、協調性、働く姿勢、実務を知り実践できる。	89.5	②受入れ企業の事業活動を理解し、研修で得た気づきや学びを振り返る力を習得する。	89.0	③研修内容をとりまとめ、報告することができる。	89.0			89.2	90.8	3.7	3.8
8	卒業研究・卒業制作（花き生産コース）	必修	課題解決	240	前田	6	①課題のテーマに基づき卒業論文をまとめることができる	86.4	②論文要旨を発表することができる	90.7	③担当温室の状況を把握し、適切に管理することができる	83.6	④花き業界の動向を理解する	85.0	86.4	85.0	3.4	3.0
9	卒業研究・卒業制作（花き装飾コース）	必修	課題解決	240	吉田	10	①各自の課題設定に基づき、計画を立て、制作を繰り返すことで実践的な即戦力となる技術を習得する。	94.0	②制作物の制作過程を記録に残すことができる。	95.0	③プレゼンテーションができる。	94.0			94.3	90.0	4.0	3.8
10	卒業研究・卒業制作（造園緑化コース）	必修	課題解決	240	新井	4	①課題に取り組み、解決を図ることができる。	90.0	②過程や結果について記録を残すことができる。	92.5	③発表会で報告することができる。	92.5			91.7	90.7	3.8	3.6

資料3-2 主な学校行事等 (令和7年度)

時 期	行 事 名	備 考
4月1日(火)	春季休業	
4月2日(水)	前期授業開始日(2年)	～9月26日(金) 前期授業最終日
4月9日(水)	入学式	入学生23名
4月9日(水)～4月11日(金)	新入生ガイダンス	1年生23名
4月24日(木)	企業説明会	出展企業18社
5月1日(木)～5月4日(日)	学校見学会	参加者10名(別途同伴者等15名)
6月4日(水)	学校関係者評価委員会	オンライン併用にて実施
6月7日(土)	学園祭(なんじゃ祭)	学生会主催
	学校見学会	参加者17名(別途同伴者等12名)
7月23日(水)	花と緑の意見交換会	卒業生6名と1、2年生の意見交換
8月6日(水)	教育課程編成委員会(第1回)	オンライン併用にて実施
7月26日(土)～8月31日(土)	夏季休業	集中講義等実施
7月27日(日)～7月28日(月)	オープンキャンパス	参加者32名(別途同伴者等28名)
9月6日(土)～9月8日(月)	学校見学会	参加者7名(別途同伴者等8名)
9月8日(月)～9月13日(土)	海外視察研修	シンガポール(2年生18名)
9月9日(火)	緑の学園	県内農業系高等学校7校 2年生30名
9月26日(金)	海外視察研修報告会	マイスター科2年生(+オンライン)
10月1日(火)	後期授業開始日	～3月2日(月)後期授業最終日
10月1日(水)～10月22日(水)	インターンシップⅢ	15日間以上の実習 2年生20名
10月22日(水)	入学試験(推薦入試)	マイスター科(推薦入試) 出願者 名
10月25日(土)	学校見学会	参加者4名(別途同伴者5名)
10月31日(金)	インターンシップⅢ報告会	マイスター科2年生(+オンライン)
11月4日(火)～11月18日(火)	インターンシップⅠ	10日間以上の実習 1年生22名
11月18日(火)	教育課程編成委員会(第2回)	オンライン併用にて実施
11月26日(水)	入学試験(一般入試第1回)	マイスター科(一般入試第1回) 出願者2名
12月2日(火)	インターンシップⅠ報告会	マイスター科1年生(+オンライン)
12月10日(水)	消防訓練	教職員、マイスター科1・2年生
12月27日(土)～1月5日(月)	冬季休業	マイスター科(一般入試第2回) 出願者2名
1月28日(水)	入学試験(一般入試第2回)	
2月4日(水)	卒業研究・卒業制作発表会	マイスター科2年生(+オンライン)
2月10日(火)	活動成果報告会	聴講者24名(会場8名、オンライン16名)
3月3日(火)	卒業式	卒業生20名
3月10日(火)	教員企業研修報告会	聴講者21名(オンライン18名、 会場3名)
3月14日(土)～3月16日(月)	春の学校見学会	参加者18名(別途同伴者等19名)
3月14日(土)～3月31日(火)	春季休業	

資料3-3 各種発表会・報告会（令和7年度）

○海外視察研修発表会

- ◆趣 旨 令和6年度に引き続き、シンガポールを視察先として海外視察研修を実施
生産・装飾・造園の各コースの視点で各学生が課題を設定し、視察先での聞き取りや調査を行った結果等について発表
- ◆日 時 令和7年9月26日（金）9：00～16：30
- ◆場 所 国際園芸アカデミー 研修室
- ◆内 容 マイスター科2年による研修報告
- ※視察先企業、ご家族等、外部関係者 会場聴講：2名
Web会議アプリZoomにて視聴：7名、YouTube配信にて視聴：8名

○インターンシップⅢ報告会

- ◆趣 旨 マイスター科2年生が、就職を希望する業種でのインターンシップで学んだ内容を報告
- ◆日 時 令和7年10月31日（金）9：00～16：30
- ◆場 所 国際園芸アカデミー 研修室
- ※インターンシップ受入れ先企業・団体、ご家族等、外部関係者は
Web会議アプリZoomにて視聴：10名、YouTube配信にて視聴：11名

○インターンシップⅠ報告会

- ◆趣 旨 マイスター科1年生が、就職を希望する業種でのインターンシップで学んだ内容を報告
- ◆日 時 令和7年12月2日（火）9：00～16：30
- ◆場 所 国際園芸アカデミー 研修室
- ※インターンシップ受入れ先企業・団体、ご家族等、外部関係者
Web会議アプリZoomにて視聴：10名、YouTube配信にて視聴：12名

○卒業研究・卒業制作発表会

- ◆趣 旨 マイスター科2年生が2年間で学んだ知識と技術を活用し、「卒業研修・卒業制作」として行った研究や制作について発表
- ◆日 時 令和8年2月4日（水）9：00～16：30
- ◆場 所 国際園芸アカデミー 研修室
- ※ご家族等会場聴講7名、連携研究先企業、インターンシップ受入れ先企業・団体、ご家族、外部関係者等
Web会議アプリZoomにて視聴：16名、YouTube配信はホームページにて公開

○活動成果報告会

◆趣 旨 花と緑の実践技術の修得に向けて、カリキュラムをどのように組み立て授業で伝えているかなどの教育姿勢を報告する。

◆日 時 令和8年2月10日(火) 13:15～16:30

◆場 所 国際園芸アカデミー 研修教育棟研修室

◆内 容 ・1年間の振り返り報告
・各コースの令和7年度成果について
・生涯学習講座開催実績
・「花のプロフェッショナルとして」と題し、講演とデモンストレーション
株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ フラワーコーディネーター兼
フラワー&スペースデザイナー 小栗 早稀氏

※連携研究先企業、インターンシップ受入れ先企業・団体、ご家族、外部関係者、来年度入学予定者等が聴講。

会場聴講：8名、Web会議アプリ Zoomにて視聴：16名

YouTube 配信ホームページにて公開

○教員企業研修報告会

◆趣 旨 教員7名が、花と緑の業界に関わる企業や教育機関等で研修した成果及び得られた知見等を報告

◆日 時 令和8年3月10日(火) 9:00～15:20

◆場 所 国際園芸アカデミー 研修教育棟研修室

※研修受入先、インターンシップ受入れ先企業・団体、本校学生、来年度入学予定者等が聴講。

会場聴講：3名、Web会議アプリ Zoomにて視聴：18名

YouTube 配信はホームページにて公開

資料3-4 インターンシップ実施状況 (令和7年度までの10年間)

各年度におけるインターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲの延べ派遣先企業等数

年 度	学 生	県 内	県 外	計
平成28年度	1年生	18	10	28
	2年生	16	15	31
	計	34	25	59
平成29年度	1年生	13	6	19
	2年生	24	22	46
	計	37	28	65
平成30年度	1年生	19	7	26
	2年生	23	24	47
	計	42	31	73
令和元年度	1年生	23	7	23
	2年生	15	42	57
	計	31	49	80
令和2年度	1年生	16	1	17
	2年生	21	24	45
	計	37	25	62
令和3年度	1年生	15	6	21
	2年生	18	17	35
	計	33	33	56
令和4年度	1年生	13	10	23
	2年生	14	26	40
	計	27	36	63
令和5年度	1年生	15	7	22
	2年生	12	40	52
	計	27	47	74
令和6年度	1年生	9	13	22
	2年生	20	19	39
	計	29	32	61
令和7年度	1年生	13	10	23
	2年生	16	24	40
	計	29	34	63
履修体系	インターンシップⅠ (必修) : 1年後期 10日間以上の実習 インターンシップⅡ (選択) : 1～2年(春季・夏季休暇等) 7日間以上の実習 インターンシップⅢ (必修) : 2年後期 15日間以上の実習			

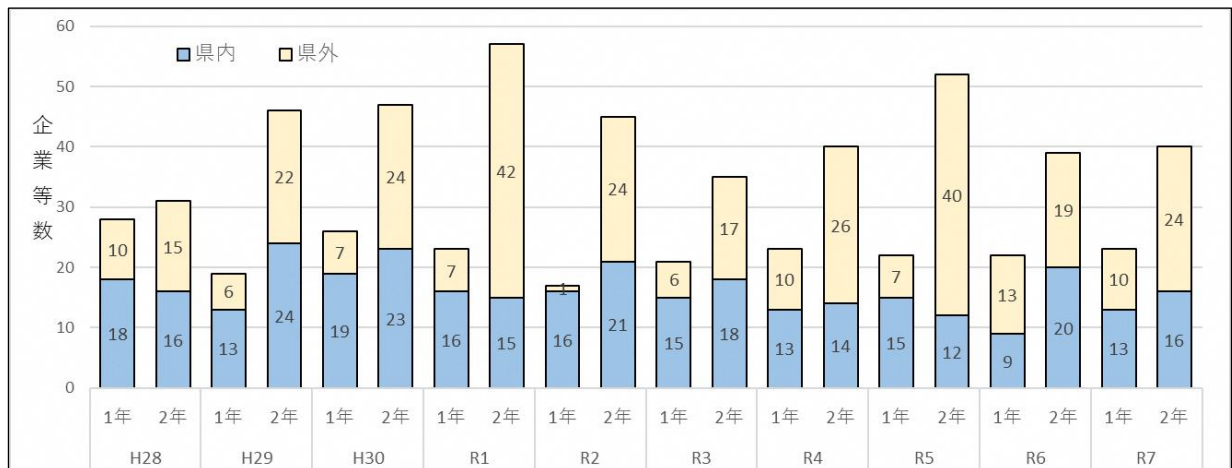


図1 インターンシップの実施状況

資料3-5 海外視察研修 (令和7年度)

視 察 国：シンガポール

研修期間：令和7年9月8日（月）～9月13日（土）

参 加 者：マイスター科2年生18名、引率教職員：2名

月 日	視 察 先 等
9月8日（月）	国際園芸アカデミー 発 ⇒ シンガポール 着
9月9日（火）	<p>◎Edible Garden City社視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードガーデンを設計・建設・維持、野菜生産、農業ワークショップの企画・実施を行う企業。社員より持続可能な都市型農業について説明を受けた。 <p>○マーライオン公園（見学）</p> <p>◎ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンガポール政府が、シンガポールを“花園の中にある街”にしようと、広大な埋立て地を再開発したエリア <p><u>フラワードーム</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリフォルニアや南アフリカの涼しく乾燥した気候を再現したドーム（32,000種を超える植物を植栽） <p><u>クラウド・フォレスト</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・亜熱帯山岳地域の雲霧林を再現したドーム ・世界最大級の人工屋内滝があり、空中遊歩道を巡りながら、世界各地から集められた植物を観賞 <p>○スペクトラ見学</p>
9月10日（水）	<p>◎シンガポール植物園視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広大な植物園で、南国ならではの珍しい植物を鑑賞できる。園内ガイドツアーに参加。 ・植物園職員より植物園の歴史について説明を受けた。 ・世界最大規模のさまざまなランが展示されている国立蘭園視察 <p>○パークロイヤル・オン・ピッカリング（外観のみ見学）</p> <p>○オアシアホテル（外観のみ見学）</p> <p>◎トムソンロード周辺園芸店、花き卸売店視察</p> <p>○ナイトサファリ観光</p>
9月11日（木）	<p>◎終日 班別行動</p> <p>A班 ビシャン・アンモキオパーク、バードパラダイス視察</p> <p>B班 市内の園芸店視察</p> <p>C, D班 市内の花販売店視察</p>
9月12日（金）	<p>◎セントーサ島 シロソビーチリゾートにてホテル視察</p> <p>○自由行動</p> <p>◎複合商業施設JEWEL（見学）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンギ空港内の大型複合商業施設内にある、シンガポール最大級の屋内庭園
9月13日（土）	シンガポール 発 ⇒ 国際園芸アカデミー 着

－ 3 教育活動 －

資料 3-6 特別講座 (令和 7 年度)

実施日	講師	講座内容	参加者
令和 7 年 6 月 27 日	有限会社 LIBRA 代表取締役 平野 裕加里 氏	「効果的な対話技術を学ぶ」 社会人として働く中で、相手に話す内容を正しく伝える情報伝達力は重要であり、伝え力、コミュニケーション力について学ぶ。	1 年 22 人 教職員 5 人
令和 7 年 7 月 23 日	可児警察署 堤交通課総務係長 岡崎生活安全課生活安全 総務係長	「学生のための危機管理講座」 「学生の交通安全」について、及び「犯罪に合わないために、犯罪をおこさないために」の内容で実例をあげて紹介、注意を促す。	1 年生 18 人 教職員 4 人
令和 8 年 1 月 19 日	岐阜県国際交流員 曾 紀悠 氏	「中国の魅力：文化と植物」 中国について、地理や人口、民族などの情報から、書道などの伝統文化や食事や薬膳文化、家庭で飾られる植物や花を贈る文化など、様々な観点から紹介。	2 年 16 人 1 年 13 人 教職員 11 人
令和 8 年 1 月 19 日	外部講師 安保 有美 氏	「自分の中に答えはある」 自分の本音で生きてほしい。あなたはどうか生きてほしい？ 参加者が自身に問いかけ、自分と向き合う授業	2 年 16 人 1 年 13 人 教職員 9 人
令和 8 年 2 月 12 日	(一社)日本造園建設業協会 造園領域発展戦略委員会 女性活躍推進部会長 酒井 一江 氏 造園領域発展戦略委員会 副委員長 小立 亮 氏	「造園業における働き方 出前講座」 造園の仕事とはどのようなものかを解説し、社会人として働くこと、仕事に対する向き合い方などについて、参加学生・生徒との対話を通して理解を深めた。	造園緑化コース 1 年生 8 人 教職員 4 人 加茂農林高校 環境デザイン科 1 年生 37 人 教員 2 人

- 3 教育活動 -

資料 3-7 実践教育フィールドの活用実績(ぎふワールド・ローズガーデン内)

使用日	授業科目名	担当教員	対象	利用授業時数	展示時間数※	授業時間				使用場所					備考
						1	2	3	4	花トピア研修室	花トピア販売展示スペース	温室	実習フィールド*	その他	
2025/4/2 (水)	盆栽実習	村瀬	2年選択者	8		○	○	○	○			○			
2025/4/3 (木)	盆栽実習	村瀬	2年選択者	7		○	○	○	○		○				
2025/4/4~4/6	盆栽実習	村瀬	2年選択者		24						○				盆栽作品展示3日間
2025/4/15 (火)	造園施工管理実習Ⅲ	新井	2年選択者	6		○	○	○					○		
2025/4/23 (水)	園芸装飾実習Ⅰ	村瀬	1年必修	4			○	○			○				園内の視察
2025/5/2 (金)	生産課題解決演習Ⅱ	雨宮	2年選択者	8		○	○	○	○		○				花苗等販売
2025/5/9 (金)	花修景実習Ⅲ	新井	2年選択者	8		○	○	○	○				○		
2025/5/23 (金)	基礎育種学	前田	2年選択者	4				○	○						
2025/5/27 (火)	花修景実習Ⅲ	新井	2年選択者	4				○	○					○	
2025/6/10 (火)	栽培・生産論	雨宮	1年必修	8		○	○	○	○						
2025/6/11 (水)	花修景実習Ⅲ	新井	2年選択者	4				○	○					○	
2025/6/24~6/29	フラワー装飾演習	林	2年花き装飾コース		48						○				ヨーロッパ作品展示6日間
2025/6/27 (金)	花修景実習Ⅲ	新井	2年選択者	6			○	○	○					○	
2025/7/6~7/11	フラワーデザイン実習Ⅰ	林	1年必修		48						○				ドライスワッグ作品展示6日間
2025/7/29~8/30	フラワーデザイン実習Ⅰ	林	1年必修		264						○				押し花作品展示33日間
2025/9/2 (火)	造園総合実習	新井	2年選択者	6			○	○	○					○	
2025/9/3 (水)	造園総合実習	新井	2年選択者	8		○	○	○	○					○	
2025/9/16 (火)	造園総合実習	新井	2年選択者	8		○	○	○	○					○	
2025/9/17 (水)	花修景実習Ⅲ	新井	2年選択者	8		○	○	○	○					○	
2025/9/18 (木)	造園総合実習	新井	2年選択者	8		○	○	○	○					○	
2025/9/19 (金)	造園総合実習	新井	2年選択者	8		○	○	○	○					○	
2025/10/8~10/13	フラワーデザイン実習Ⅱ	林	1年選択者		48						○				ハーバリウム作品展示6日間
2025/10/8 (水)	造園施工・管理実習Ⅱ	新井	1年選択者	4		○	○							○	
2025/10/21 (火)	花修景実習Ⅱ	新井	1年必修	4		○	○							○	
2025/10/25 (土)	イベント販売実習	前田	1年必修	8		○	○	○	○					○	音楽広場
2025/10/25 (土)	卒業研究・卒業制作	前田	2年生必修(生産コース)	8		○	○	○	○					○	音楽広場
2025/10/26 (日)	イベント販売実習	前田	1年必修	8		○	○	○	○					○	音楽広場
2025/10/26 (日)	卒業研究・卒業制作	前田	2年生必修(生産コース)	8		○	○	○	○					○	音楽広場
2025/11/7 (金)	卒業研究・卒業制作	新井	2年生必修(造園緑化コース)	8		○	○	○	○					○	
2025/11/11 (火)	卒業研究・卒業制作	新井	2年生必修(造園緑化コース)	8		○	○	○	○					○	
2025/11/13 (木)	卒業研究・卒業制作	新井	2年生必修(造園緑化コース)	8		○	○	○	○					○	
2025/11/14 (金)	卒業研究・卒業制作	新井	2年生必修(造園緑化コース)	8		○	○	○	○					○	
2025/11/18 (火)	卒業研究・卒業制作	新井	2年生必修(造園緑化コース)	4		○	○				○			○	
2025/12/16~12/24	フラワーデザイン実習Ⅱ	林	1年選択者		72						○				リース、スワッグ作品展示9日間
2025/12/9 (火)	花修景実習Ⅱ	新井	1年必修	8		○	○	○	○					○	
2025/12/27~2026/1/8	フラワーデザイン実習Ⅱ	林	1年選択者		56						○				お飾り作品展示7日間
2026/1/7 (水)	造園施工・管理実習Ⅱ	新井	1年選択者	4		○	○				○			○	
2026/2/16 (月)	生産課題解決演習Ⅰ	雨宮	1年選択者	4				○	○				○		パンジー・ビオラの世界展視察

計 205 560 ※展示1日 = 8時間とする

R 7 WRG利用時間数 合計 765

資料 3-8 花と緑の連携授業 (令和 7 年度)

実施日	高校名	学科・学年	人数	内容	担当 教員
5/28	加茂農林高等学校	園芸流通科 3年	9	珪藻土ウレタンを使用した多肉 植物商品の製作	前田
5/15	加茂農林高等学校	園芸流通科 2年	39	フラワーアレンジメント実習	林
6/25	郡上高等学校	園芸科学科 2年	18	季節の花を使った商品（ハーバリウム制作）	林
9/19	郡上高等学校	園芸科学科 3年	8	切り花の鮮度保持 岐阜県の花き育種	前田 雨宮
11/10	恵那農業高等学校	園芸科学科 2年	34	トライアングュラー（アレンジメント）の制作	吉田
11/18	岐阜農林高等学校	生物工学科 2年		マナーリテラシーを学ぼう（生活費と給料）	佐藤
1/16	恵那農業高等学校	園芸科学科 3年	29	ウェディングブーケ（ブライデイを使ったブーケ）	村瀬
1/28	恵那農業高等学校	園芸科学科 2年	34	コサージュの制作	吉田
1/28	郡上高等学校	園芸科学科 2年	18	季節の花を使った商品づくり （花束制作）	林

資料 4-1 進路の状況 (令和7年度卒業生)

(令和8年3月)

分類	就職先	本社等所在地	人数	備考 (勤務地)
生産法人等	株式会社ハクサン	愛知県	1	愛知県
	株式会社大和ガーデンファーム	奈良県	1	長野県
生花店・園芸店・ 装飾	株式会社WESTFIELD	大阪府	1	愛知県
	株式会社彩花中島	岐阜県	1	岐阜県
	株式会社サトウ花店	大阪府	2	愛知県 大阪府
	株式会社ちきりやガーデン	京都府	1	滋賀県
	株式会社坪井花苑	愛知県	1	愛知県
	株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ	東京都	1	岡山県
	株式会社天翔苑	岐阜県	1	岐阜県
	株式会社パーク・コーポレーション (青山フラワーマーケット)	東京都	1	東京都
	株式会社バムズ	岐阜県	1	岐阜県
	株式会社ROSE FACTORY	愛知県	1	愛知県
造園設計・施工管 理	植彌加藤造園株式会社	京都府	1	京都府
	株式会社石勝エクステリア	東京都	1	神奈川県
	株式会社TONZAKOデザイン	愛知県	1	愛知県
	昭和造園土木株式会社	岐阜県	1	岐阜県
公務員・団体職員	一般財団法人 公園財団	東京都	2	愛知県 長野県
その他			1	
	計		20	

資料 4-2 卒業時の進路の状況 (マイスター科令和7年度卒業生までの累計)

進路区分	進路先内訳	人数 (人)			割合	
		県内	県外	県内	県外	
起 業	起業(就農)	1	1	0	100%	0%
	起業(園芸)	1	1	0	100%	0%
	小 計	2	2	0	100%	0%
就 職	生産法人等	30	14	16	47%	53%
	市場流通等	5	2	3	40%	60%
	生花店・園芸店・装飾	172	66	106	47%	53%
	造園設計・施工	84	29	55	35%	65%
	公園管理/観光	28	11	17	39%	61%
	福祉関係等	4	4	0	100%	0%
	公務員・団体職員	31	13	18	42%	58%
	農業高校実習助手	4	4	0	100%	0%
	ボランティア活動	3	2	1	67%	33%
	その他	5	2	3	40%	60%
	小 計	366	147	219	40%	60%
進学・研修	進学	13	7	6	54%	46%
	研修(海外/国内)	4	1	3	25%	75%
	小 計	17	8	9	47%	53%
未 定		12				
合 計		397				

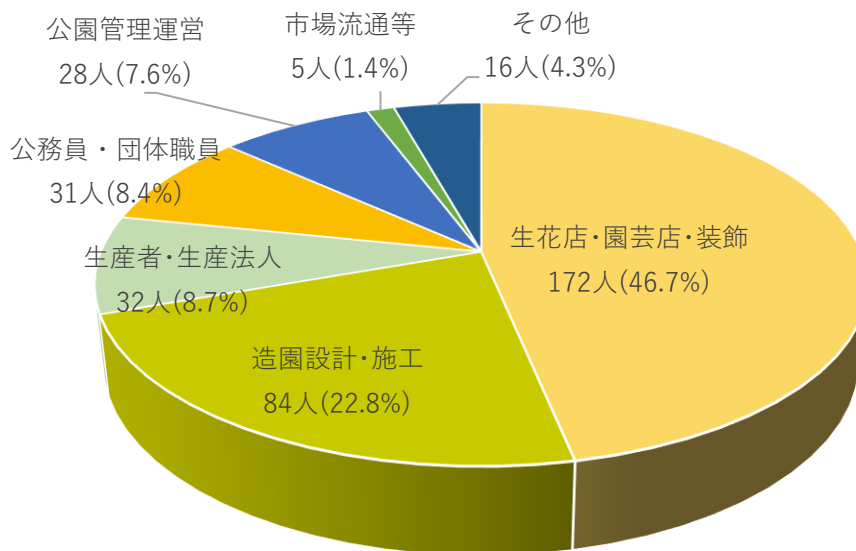


図1 卒業時の進路状況 (起業・就職した卒業生)

資料4-3 資格の取得状況 (令和7年度、令和6年度)

資格の名称 (認定機関)			令和7年度			令和6年度		
			受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
技能検定 (厚生労働省)	3級 造園 学科		7	7	100%	5	5	100%
	〃 実技		7	7	100%	4	4	100%
	2級 造園 学科		3	2	67%	6	5	83%
	〃 実技		4	2	50%	6	3	50%
	3級 室内園芸装飾 学科		11	11	100%	7	7	100%
	〃 実技		11	11	100%	7	7	100%
	2級 室内園芸装飾 学科		1	1	100%	1	0	0%
	〃 実技		1	1	100%	1	1	100%
	3級 フラワー装飾 学科		4	4	100%	10	10	100%
	〃 実技		4	4	100%	13	13	100%
2級 フラワー装飾 学科		11	10	91%	11	11	100%	
〃 実技		11	10	91%	11	10	91%	
施工管理技術検定 (国土交通省)	2級 造園 学科	※在学中は学科のみ受検可	4	3	75%	4	2	50%
初級園芸福祉士			12	11	92%	14	14	100%
池坊 入門 初伝			12	12	100%	16	16	100%
岐阜県農薬管理指導士			6	6	100%	3	3	100%
小型車両系建設機械運転※			10	10	100%	-	-	-%
刈払機取扱作業者※			-	-	-%	10	10	100%
フォークリフト運転技能			0	0	-%	0	0	-%
ビオトープ管理士			0	0	-%	0	0	-%
伐木等の業務 (特別教育)			0	0	-%	0	0	-%
玉掛け技能			0	0	-%	0	0	-%
小型移動式クレーン運転技能			0	0	-%	0	0	-%
日商簿記検定 3級			1	1	100%	0	0	-%
エクステリアプランナー 2級			0	0	-%	0	0	-%

※安全講習が隔年で実施される

資料4-4 競技大会・コンペティション等の参加状況（令和7年度）

名 称	開催月	参加者
第20回若年者ものづくり競技大会 (造園職種)	8月	造園緑化コース2年1名
第63回技能五輪全国大会 (フラワー職種)	10月	花き装飾コース1年1名、2年1名
みえ花とみどりのふれあいフェスタ 花とみどりのコンテスト 学生フローリストによるデモンストレーション	12月	花き装飾コース2年4名
第52回全国造園デザインコンクール (主催：日本造園建設業協会) 住宅庭園部門	1月	造園緑化コース2年1名
第13回岐阜県域農林業教育システム 研究発表交流会	1月	花き生産コース2年3名
第22回造園デザインコンクール (一般社団法人 愛知県造園建設業協会) 公園部門	1月	造園緑化コース2年1名

資料4-5 入賞・表彰等の状況（令和7年度）

行 事 名 (部門等)	表彰の内容	受賞者の学科・学年
第46回岐阜県職業能力開発促進大会	技能五輪岐阜県大会成績優秀者 (フラワー装飾職種) 岐阜県知事賞	マイスター科2年1名
	技能検定成績優秀者 (フラワー装飾職種) 岐阜県職業能力開発協会長賞	マイスター科1年1名
みえ花とみどりのふれあいフェスタ 花とみどりのコンテスト 学生フローリストによるデモンストレーション	日本生花商協会理事長賞	マイスター科2年1名

資料5-1 奨学金等の状況

(1) 国際園芸アカデミー独自の奨学金

支援団体	大垣共立銀行	十六銀行	昭和造園土木株式会社	株式会社 岐東庭園	I MA	F S
支援対象	1年次に決定	1年次に決定	1年次に決定	1年次に決定	1年次に決定	1年次に決定
採用人数	1名以内	1名以内	1名以内	1名以内	1名以内	1名以内
支援方法	給付	給付	給付	給付	給付	給付
支援金額	年間 55,800円	年間 55,800円	年間 60,000円	年間 60,000円	年間 50,000円	年間 50,000円
支援期間	2年間	2年間	2年間	2年間	2年間	2年間
給付者数	令和3年度	1人				
	令和4年度	1人				
	令和5年度	1人	1人		1人	
	令和6年度	1人	1人	1人	1人	
	令和7年度	1人	1人	1人	1人	1人
延べ人数※	22人	22人	3人	2人	3人	2人

※延べ人数は、平成16年度開学からの給付者数の合計

(2) 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金

支援団体	独立行政法人日本学生支援機構			
支援対象	全学生			
採用人数	日本学生支援機構の基準による選考			
支援方法	貸与(無利子)	貸与(有利子)	給付	
支援金額	<自宅> 月額2~4.5万円 <自宅外> 月額2~5.1万円	月額2~12万円の うち1万円単位で 選択	<自宅> 月額2万円 <自宅外> 月額3万円	
支援期間	2年間	2年間	2年間	
	平成28年度	0人	3人	
	平成29年度	3人	2人	
	平成30年度	4人	5人	
	令和元年度	1人	1人	1人
	令和2年度	1人	4人	5人
	令和3年度	1人	3人	0人
	令和4年度	1人	1人	5人
	令和5年度	3人	2人	1人
	令和6年度	3人	4人	5人
	令和7年度	3人	4人	12人※2
延べ人数※1	31人	56人	29人	

※1 延べ人数は、平成16年度開学からの給付者数の合計

※2 令和7年度から多子世帯への支援が開始となり、授業料等減免(満額支援)対象者も人数に含める。

－ 5 学生支援 －

(3) 就農準備資金（制度開始から令和7年度までの実績）

（平成24年度から令和3年度までは、農業次世代人材投資資金）

支援団体	（一社）岐阜県農畜産公社 他	
支援対象	就農を予定している学生	
支援方法	給付	
支援金額	150万円/年	
支援期間	最長2年間	
本校における認定件数	H24年度 0件 H25年度 2件（岐阜県、福井県※） H26年度 2件（岐阜県、愛知県※） H27年度 1件（岐阜県） H28年度 0件 H29年度 0件 H30年度 0件 R元年度 0件 R2年度 0件 R3年度 1件（岐阜県）	R4年度 0件 R5年度 0件 R6年度 0件 R7年度 0件

※) 認定及び給付は学生の出身県で行われる

(5) ぎふ農業経営者育成発展支援事業（制度開始から令和7年度までの実績）

支援団体	県内市町村
支援対象	就農を予定している学生
支援方法	給付
支援金額	100万円以内/年
支援期間	最長1年間
本校における認定件数	R4年度 1件（七宗町） R5年度 0件 R6年度 0件 R7年度 0件

資料 5-2 寄付金、寄付物品（令和7年度）

寄付者	寄付金、寄付物品	時期
西垣林業株式会社	ウッドデッキ材料一式	令和7年4月
可児造園協同組合	石積み他一式	令和7年4月
横浜植木株式会社	書籍寄贈：百花繚乱「横浜植木物語」	令和7年6月

寄付者	寄付金、寄付物品	時期
加藤友規	書籍寄贈：「日本庭園のフオスタリング<こころとわざ>の継承と創造」	令和7年8月
一般社団法人横浜市造園協会	充電式ヘッジトリマ 2台	令和7年9月
ヤハギ緑化株式会社	御影階段石2本 御影ピンコロ170個 御影飛石(大3枚、中5枚、小3枚)	令和7年9月

資料5-3 休学者・退学者数、進級者数 (令和7年度)

○ 休学者・退学者

入学年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
休学	0	3	2	0	1	2
退学	1	3	3	0	0	1

○ 進級者

進級者	マイスター科1年生 21人／22人中(休退学者を除く)
-----	--------------------------------

資料5-4 卒業生及び同窓会との連携 (令和7年度)

連携実績の具体的内容	人数、回数等
・外部講師への就任	卒業生 8 人
・「企業説明会」(4/24)において、卒業生が企業を代表して参加し、企業概要、仕事のやりがいについて説明	卒業生 10 人
・「花と緑の意見交換会」(7/23)と題し、企業等で活躍する卒業生が、1, 2 年生に向けて企業の概要、仕事のやりがいについて説明、意見交換	卒業生 6 人
・「植物ビジネス論」(11/19) 講義講師とともに卒業生が同行し、現在の仕事について、やりがいについて説明	卒業生 1 人
・関ヶ原戦地景観整備事業における学生ボランティア活動(4/19, 11/22) の指導	卒業生 1 人
・インターンシップ先で働く卒業生がインターンシップ学生を指導(11/4～11/18) (京都府立植物園、昭和造園土木株式会社、鶴舞公園、豊田緑化苑)	卒業生 4 人
・ウェディング業界で働く卒業生が、卒業研究・卒業制作に取り組む2年生に現場のブーケ制作方法を指導(11/12, 12/10)	卒業生 2 人
・同窓会役員会(12/26)において、研修会及び書面総会にかかる打合せ	卒業生 2 人
・活動成果報告会(2/10) 講演&デモンストレーションの講師として卒業生が講演、学生アシスタント指導	卒業生 1 人

資料 6-1 施設・備品の整備改修（令和7年度）

施設・備品名等	金額（千円）	内 容
<p>●工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1号温室バラ栽培設備改修工事 ・ エアコン修繕 ・ 本館エレベータ修繕 ・ 研修室A引戸修繕 ・ 実習棟外壁修繕 ・ 自動ドア修繕 ・ 光学式スポット型感知器取替修繕 ・ 本館ドア修繕 	<p>5,215</p> <p>725</p> <p>297</p> <p>119</p> <p>385</p> <p>39</p> <p>104</p> <p>69</p>	<p>養液供給装置の更新</p> <p>研修室及び本館1階室外機</p> <p>本館エレベータ停電灯取替</p> <p>引戸緩衝材取替</p> <p>煙突撤去及び外壁修繕</p> <p>研修教育棟入口自動ドア</p> <p>火災報知器感知器取替</p> <p>本館北側通用口ドア</p>
<p>●備品購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パソコン ・ シュレッダー ・ ハンドドライヤー ・ 1号温室暖房用ボイラー 	<p>6,336</p> <p>98</p> <p>99</p> <p>1,650</p>	<p>デスクトップパソコン15台、 CAD用パソコン17台購入</p> <p>1台購入</p> <p>教育研修棟男子トイレ</p> <p>老朽化したボイラーの交換</p>

資料7-1 広報活動状況 及び 学生募集活動状況 (令和7年度)

(1) 広報活動状況

○広報ツールによるPR

- ・学校案内パンフレット 2,500部
- ・学校案内ポスター 100部
- ・学校案内チラシ 3,000部

<主な配布先>

県内高校、全国農業系高校、県内市町村、県内園芸・造園業者、卒業生就職先、インターンシップ先、公立図書館・植物園、県内JA 他

○ホームページ等の活用

ホームページにおいて、行事、授業の様子、学外活動など各種取組みを提供

トピックス記事 111件 教員ブログ 292件

公式SNS（フェイスブック、インスタグラム）において各種情報を提供

フェイスブック 235件 インスタグラム 328件

<主な内容>

学校行事、入試概要、トピックス形式によるイベント情報、教員ブログ、生涯学習講座、キャンパスライフ、専攻コースの紹介

○プレスリリース実績（カッコ内:プレスリリース日） 全19件

- ・入学式 (3/31)
- ・国際園芸アカデミー企業説明会の開催について (4/10)
- ・5月・6月学校見学会の参加者募集 (4/14)
- ・学園祭「なんじゃ祭」の開催について (5/23)
- ・国際園芸アカデミー特別講座の開催について (6/19)
- ・国際園芸アカデミー「オープンキャンパス」の参加者募集について (6/27)
- ・国際園芸アカデミー特別講座の開催について (7/4)
- ・国際園芸アカデミー「花と緑の意見交換会」の開催について (7/14)
- ・国際園芸アカデミー「秋の学校見学会」の参加者募集について (8/13)
- ・令和7年度農業大学校・国際園芸アカデミー「緑の学園」を開催 (8/27)
- ・国際園芸アカデミー「海外視察研修会報告会」の開催 (9/18)
- ・国際園芸アカデミー「イベント販売実習」の実施について (10/8)
- ・国際園芸アカデミー「インターンシップ報告会」の開催 (10/17)
- ・国際園芸アカデミー「インターンシップ報告会」の開催 (11/19)
- ・国際園芸アカデミー「卒業研究・卒業制作発表会」開催について (1/27)
- ・国際園芸アカデミー「活動成果報告会」の開催について (2/3)
- ・国際園芸アカデミー「春の学校見学会」の参加者募集について (2/10)
- ・令和7年度岐阜県立国際園芸アカデミー卒業式について (2/24)
- ・国際園芸アカデミー「教員企業研修報告会」の開催について (3/2)

○メディアの取材等を通じて掲載・放映された本学関連行事・取組み等

(カッコ内：報道機関及び報道された日)

報道・掲載回数 42 件

<新聞掲載>

- ・ 23 人が職業園芸人へ第一歩 (中日新聞 4/10)
- ・ 専門知識身に付け古里貢献 (岐阜新聞 4/10)
- ・ 花と緑の分野で活躍できる人に (日本農業新聞 4/11)
- ・ 緑化フェア彩る花壇 県内で初、あす開幕「北の大花壇」は県立国際園芸アカデミーの学生がデザイン (岐阜新聞 4/22)
- ・ 佳子さま来月 20, 21 日来県 21 日にぎふワールド・ローズガーデンを訪ね、全国都市緑化祭の記念式典に出席した後、県立国際園芸アカデミー(可児市)で学生と一緒に花束制作を体験する(岐阜新聞 4/23、中日新聞 4/23)
- ・ 県園芸アカデミー5, 6 月に見学会 (岐阜新聞 4/23)
- ・ 県営公園魅力つなぐ 緑化フェア、周遊の玄関口に 鑑賞した県立国際園芸アカデミー学生の談話 (岐阜新聞 4/24)
- ・ 自然との共生体感を 全国都市緑化ぎふフェア 県立国際園芸アカデミーの学生がデザインし、県民が植えた「北の大花壇」 (中日新聞 4/24)
- ・ 県園芸アカデミー生フジバカマ定植支援 (中日新聞 4/25)
- ・ 県アカデミーで企業説明会 園芸関係の仕事 魅力知る (岐阜新聞 4/26)
- ・ 春の学校見学会 5 月 1 日から岐阜県立国際園芸アカデミー (日本農業新聞 4/26)
- ・ 第 42 回全国都市緑化ぎふフェア 「北の大花壇」は、フェアの一環で県国際園芸アカデミーの生徒が岐阜の川や山々をイメージしてデザインした。 (中日新聞 5/4)
- ・ 全国都市緑化ぎふフェア開幕 県立国際園芸アカデミー学生がデザイン、県民が植栽した「北の大花壇」 (花卉園芸新聞 5/15)
- ・ 学校見学・相談会来月 7 日学園祭で岐阜県立国際園芸アカデミー (日本農業新聞 5/22)
- ・ 佳子さま来岐、笑顔の交流 2 施設視察、きょう都市緑化祭出席 (岐阜新聞 5/21、中日新聞 5/21)
- ・ 佳子さま触れ合いに花 フラワーアレンジメントを体験される佳子さま (岐阜新聞 5/22、朝日新聞 5/22)
- ・ 佳子さま笑顔で交流 可児・県立国際園芸アカデミー訪問 (中日新聞 5/22)
- ・ 古戦場彩るフジバカマ 休耕田を再生 学生らが定植 (日本農業新聞 5/28)
- ・ 清らに咲ける議場のバラ 県立国際園芸アカデミーからミニバラが届けられて飾られた。(岐阜新聞 6/6)
- ・ 市町村職員、県職員と交流 可茂地域「花とみどり」施策共有 (岐阜新聞 6/17)
- ・ 園芸福祉の学び支援 サポーターが鉢替え (日本農業新聞 7/4)
- ・ 3 コース体験授業 今月 27, 28 日に 岐阜県立国際園芸アカデミー (日本農業新聞 7/19)
- ・ 就職の疑問、先輩に相談 県国際園芸アカデミーで座談会 (岐阜新聞 8/6)
- ・ 模擬授業に 32 人 3 コースを体験 (日本農業新聞 8/19)
- ・ トルコキキョウ・ガーベラ収穫 親子でブーケ作り 岐阜・国際園芸アカデミー講座

－ 7 学生の受入れ募集 －

(日本農業新聞 8/29)

- ・ 県農業大学校と園芸アカデミー 高2対象に「緑の学園」 (岐阜新聞 9/11)
- ・ 県の 11 人参加 全国技能五輪 岐阜で壮行会 選手一丸金メダルを目指す (中日新聞 9/30)
- ・ 技能五輪 目指せ金メダル 県勢 11 人、壮行会で決意 (岐阜新聞 9/30)
- ・ 植栽や街路樹、花店の違い・・・海外研修の学び共有 県園芸アカデミーで報告会 (岐阜新聞 10/4)
- ・ 大賞に八百津小 FBC 入賞校決定 審査長学長講評 (中日新聞 10/11)
- ・ 横浜市・神奈川県・国際園芸博覧会協会・横造協 岐阜県立国際園芸アカデミーに感謝状 ぎふフェアへの花博 PR 出展協力で (建通新聞 10/17)
- ・ 海外視察研修で学生が成果披露 (日本農業新聞 10/22)
- ・ 秋のローズフェスティバル 25, 26 日に県立国際園芸アカデミーの花苗販売 (岐阜新聞 10/24)
- ・ 自ら育てた花苗イベントで販売 アカデミーの学生 (日本農業新聞 11/23)
- ・ 就業体験を報告 学習の成果披露 (日本農業新聞 11/25)
- ・ シクラメン葉組み「楽しい」 可児市で小中学生が体験 (岐阜新聞 11/28)
- ・ 職場体験実習 1 年生成果報告 (日本農業新聞 12/23)
- ・ 就職先で学び生かす (日本農業新聞 2/27)
- ・ 花と緑 学びの成果 県園芸アカデミーで発表会 (岐阜新聞 3/3)
- ・ 新たな道 活躍を誓う 園芸アカデミーは 20 人 (岐阜新聞 3/4)
- ・ 14～16 日の 3 日間 春の学校見学会 (日本農業新聞 3/7)
- ・ マイスター科 20 人卒業し次の舞台へ (日本農業新聞 3/14)

<テレビ放映>

- ・ 佳子さまご訪問 (5/22TV ニュース：中京テレビ NEWS、CBC ニュース、メ〜テレニュース、テレビ愛知、FNN プライムオンライン)
- ・ なんじゃ祭での学生の様子紹介 (ケーブル TV 可児 放送日：6/18～6/25)
- ・ 技能五輪全国大会に出場学生の取組紹介 (ケーブル TV 可児 放送日：11/26～12/3)
- ・ 学校紹介 (花修景実習、造園コース樹木剪定・石組み) (名古屋テレビ AmBitious の学校おじゃまシャス：放送日：2/24)

<雑誌・刊行物掲載>

- ・ 都市緑化技術 2025No. 129
第 7 回「みどりの『わ』交流の集い」-都市の緑三賞表彰式-明治記念館にて執り行いました 第 35 回緑の環境プラン大賞【コミュニティ大賞】ポケット・ガーデン部門 縁が輪(縁側)になる庭 岐阜県可児市 岐阜県立国際園芸アカデミー
- ・ グリーン情報 vol. 517 2025. 9
「第 42 回全国都市緑化ぎふフェア 自然と共生した暮らしを伝える」の記事内 国際園芸アカデミーの学生が考案した植栽デザインを元に県民が参加して植栽した北の大花壇

－ 7 学生の受入れ募集 －

・公園緑地 Nov. 2025 vol. 86
 GREEN×EXPO 2027 開催へ ～新たな明日の風景を目指して～
 「岐阜県における花と緑の振興と GREEN×EXPO2027 への期待」の記事内
 花と緑の人材育成、第 42 回全国都市緑化ぎふフェアにおいて GREEN×EXPO2027 の PR
 出展に植栽参加

○メディア及び広報媒体を活用した学校行事予告

オープンキャンパス ・日本農業新聞 (7/19)
 ・WEB 広告 (7/8～7/22)
 学校見学会 ・日本農業新聞 (4/26, 3/7)
 ・岐阜ラジオ (2/3)
 受験情報 ・動物・自然・農業・海洋・環境・バイオ・化学・造園・フラワー系をめざす人へ
 ※岐阜県広報 ・学校見学会 (4 回)、入試 (4 回)、生涯学習講座 (2 回)

○在学生から出身高校へのメッセージ発信

本校の学生が、出身高校向けにオープンキャンパス、学校見学会チラシを作成し PR
 22 校 (県内 10 校、県外 12 校) に対して、4 月・7 月・1 月に発送

○各種イベント実施・参加による学校 PR 活動 14 回 12 か所

- ・全国都市緑化ぎふフェア 2027 年国際園芸博 PR 出展花壇 改植ボランティア
 4 月 8 日、5 月 16 日 ぎふワールド・ローズガーデン (可児市)
- ・尾張でお庭展 「コノハナサクヤヒメの庭」 出展
 4 月 19 日、20 日 提治神社 (愛知県一宮市)
- ・本学で生産した鉢花、苗物を販売「生産課題解決演習Ⅱ」
 5 月 2 日 ぎふワールド・ローズガーデン (可児市)
- ・ぎふワールド・ローズガーデンでの生涯学習講座実施
 5 月 11 日、9 月 12 日、10 月 19 日 ぎふワールド・ローズガーデン (可児市)
- ・FC 岐阜十六銀行サンクスマッチ応援イベント ハーバリウム体験ブースを出展
 7 月 21 日 岐阜メモリアルセンター芝生広場 (岐阜市)
- ・フルーツパーク夏休み親子体験 制作体験ブースを出展
 8 月 2 日 東谷山フルーツパーク (名古屋市)
- ・本学で生産した鉢花、苗物を販売「イベント販売実習」
 10 月 25 日 (土)、26 日 (日) ぎふワールド・ローズガーデン (可児市)
- ・岐阜県農業フェスティバルにて、本学パネル・パンフレット等を設置
 10 月 25 日 (土)、26 日 (日) 岐阜県庁周辺 (岐阜市)
- ・江南フラワーパークにてクリスマスディスプレイ展示「卒業研究・卒業制作」
 12 月 6 日 (土)～25 日 (木)
- ・みえ花とみどりのふれあいフェスタ 花販売
 12 月 6 日 (土)、7 日 (日)
- ・JR 岐阜駅周辺賑わい創出イベント「花で彩るクリスマス」において、花かざり展示
 12 月 18 日 (木)～25 日 (木) アクティブ G (岐阜市)
- ・本学で生産した鉢花、苗物を販売「生産課題解決演習Ⅰ」
 12 月 20 日 (土) 東谷山フルーツパーク (名古屋市)
- ・第 74 回関東東海花の展覧会岐阜県ブースにて、本学パンフレット等を設置

- 7 学生の受入れ募集 -

1月30日(金)～2月1日(日) サンシャインシティ文化会館(東京都)

- ・「フラワーバレンタイン」において、本学学生が装飾したブーケを提供

2月13日(金) 県庁(岐阜市)、美濃加茂市庁舎(美濃加茂市)
可児市庁舎(可児市)

(2) 学生募集活動状況

○高等学校への募集活動
訪問校数(延べ)
令和7年度 100校
(県内農業高校21校、県内非農業高校36校、県外高校43校)

○高校進路ガイダンスへの参加 令和7年度参加回数: 15回

参加日	会場	実施形態	参加生徒数	対応者
5/7	白鳥ふれあい創造館	進路相談会	1	前田
5/8	岐阜県立恵那農業高校	学校別説明会	3	吉田
5/8	岐阜県立飛騨高山高校	模擬授業	6	学長
5/19	岐阜県立大垣養老高校	学校別説明会	4	学長
5/23	岐阜県立岐阜農林高校	進路ガイダンス	4	副学長
6/5	愛知県立渥美農業高校	学校別説明会	1	学長
6/16	クインテッサホテル大垣	進路相談会	2	学長
6/19	大阪府立園芸高校	学校別ガイダンス	4	学長
6/25	福井市フェニックス・プラザ	進路相談	1	(資料送付)
7/3	岐阜県立恵那農業高校	模擬面接指導	1	学長
7/16	岐阜県立恵那農業高校	進路ガイダンス	4	伊藤
9/8	みの観光ホテル	進路相談会	2	佐藤
10/23	愛知県立稲沢緑風館高等学校	学校別説明会	7	学長
12/11	岐阜県立恵那農業高校	進路ガイダンス	7	学長
12/15	岐阜県立大垣養老高校	進路ガイダンス	4	学長
			計	51

○オープンキャンパス

- ・内 容 学校説明、模擬授業体験、施設案内
- ・実施日 7月27日(日)・28日(月) 参加者32名(同伴者等30名)

○学校見学会

- ・内 容 学校説明、施設案内
- ・実 施 日 5月 1日(木)～4日(日) 参加者10名(同伴者等15名)
6月 7日(土) 参加者17名(同伴者等12名)
9月6日(土)～8日(月) 参加者 7名(同伴者等 8名)
10月25日(土) 参加者 4名(同伴者等 5名)
3月14日(土)～16日(月) 参加者18名(同伴者等19名)

<農業高校を対象とした学校見学会>

- 5月15日(木) 加茂農林高等学校 園芸流通科 2年生 38名
- 6月25日(水) 郡上高等学校 園芸科学科 2年生 18名
- 2月12日(木) 加茂農林高等学校 環境デザイン科 1年生 37名

○緑の学園

- ・趣 旨 岐阜県農業高等学校校長会及び農業大学校と連携し、進路を考える時期にある農業系高等学校の2年生を対象に農業・園芸への興味と関心を深め、就農・就業への意欲を高めることを目的として開催。
- ・実 施 日 9月9日(火)
- ・参加人数 2年生30名
- ・参 加 校 岐阜農林高等学校、大垣養老高等学校、郡上高等学校、加茂農林高等学校、阿木高等学校、恵那農業高等学校、飛騨高山高等学校
- ・内 容 学校紹介、体験学習、農業大学校・国際園芸アカデミー卒業生との交流

資料 7-2 入学試験の実施状況

令和7年度（令和8年度入学）実施状況

（令和8年3月）

学科	試験区分	試験日	試験科目	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
マイ スタ ー 科	推薦入試	10/22(水)	小論文 面接	20名 (定員)	18	18	18	17	
	一般 入試	第1回	11/26(水)		選択科目	2	2	2	2
		第2回	1/28(水)		小論文	2	2	2	2
		第3回	—		面接	—	—	—	—
	外国人留学生	—	英語・小論文・面接	若干名	0	—	—	—	
マイスター科 計					22	22	22	21	

マイスター科入試について：

- ・令和6年度から、推薦入試のⅠ（県内）・Ⅱ（県外）の区分を廃止
- ・選択科目は、「英語コミュニケーションⅠ」、「生物基礎」、「農業と環境」から1科目選択
- ・一般入試（第2回）を実施した結果、募集定員を満了したため、第3回は実施していない
- ・外国人留学生入試については、令和7年度出願者なし

試験区分	試験日	試験科目	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
研究生	—	面接	若干名	0	—	—	—

- ・令和7年度は、研究生の出願なし

試験区分	試験日	試験科目	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
科目等履修生	—	担当教員との 面談	若干名	0	—	—	—

資料7-3 学生の入学・卒業状況

(1) **マイスター科** (令和8年3月)

(単位：人、%)

入 学 生 の 状 況							退 学 等	卒 業 生 の 状 況					
入 学 年 度	定 員	入 学 実 績	出 身 地 別		県 内 外 率			卒 業 実 績	進 路 先 地 域 区 分			県 内 外 率 (%)	
			県内	県外	県内	県外			県内	県外	未定	県内	県外
H16	20	26	20	6	77%	23%	4	22	12	10	0	55%	45%
H17	20	19	15	4	79%	21%	3	16	10	6	0	63%	37%
H18	20	22	14	8	64%	36%	2	20	12	8	0	60%	40%
H19	20	22	17	5	77%	23%	1	21	10	10	1	50%	50%
H20	20	15	13	2	87%	13%	0	15	8	7	0	53%	47%
H21	20	19	11	8	58%	42%	2	17	9	8	0	53%	47%
H22	20	23	14	9	61%	39%	2	21	6	13	2	32%	68%
H23	20	19	9	10	47%	53%	3	16	6	8	2	43%	57%
H24	20	14	6	8	43%	57%	2	12	4	8	0	33%	67%
H25	20	22	14	8	64%	36%	1	21	7	14	0	33%	67%
H26	20	20	10	10	50%	50%	2	18	8	7	3	53%	47%
H27	20	19	11	8	58%	42%	3	16	6	10	0	38%	62%
H28	20	22	11	11	50%	50%	0	22	9	13	0	45%	55%
H29	20	19	12	7	63%	37%	0	19	6	13	0	32%	68%
H30	20	26	11	15	42%	58%	2	24	9	15	0	38%	62%
R 1	20	20	10	10	50%	50%	0	20	6	14	0	30%	70%
R 2	20	17	10	7	59%	41%	2	15	5	8	2	38%	62%
R 3	20	23	14	9	61%	39%	3	20	6	14	0	30%	70%
R 4	20	23	10	13	43%	57%	3	20	4	14	2	22%	78%
R 5	20	22	12	10	55%	45%	0	22	9	13	0	41%	59%
R 6	20	21	7	14	33%	67%	0	20	4	16	0	20%	80%
R 7	20	23	15	8	65%	35%	1						
合計	440	456	266	190	58%	42%	36	397	156	229	12	41%	59%

(2) **研究生** (平成23年度から受入体制を明確化)

入学年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
研 究 生	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) **科目等履修生** (平成18年度から受入体制を明確化)

入学年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
科目等履修生	1	0	0	2	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	2	1	2

資料 8-1

岐阜県立国際園芸アカデミー内部質保証の基本方針及び実施体制

岐阜県立国際園芸アカデミーは、本学学則第1条に掲げる目的及び使命の実現に向け、内部質保証を恒常的に機能させることを目的として、内部質保証の基本方針及び実施体制を定める。

1. 内部質保証の基本方針

本学の基本理念や教育目標に基づいて、教育研究活動その他の諸活動に関する自己点検・評価を実施し、その結果を検証し、改善に結び付けることにより、教育研究の質を継続的に向上させる。この仕組みを構築し、実質化させることを基本方針とする。

2. 内部質保証の実施体制

内部質保証を推進するための組織は、内部質保証の客観性を担保すること及び点検・評価、検証、改善の仕組みの適切化の観点から、「内部質保証推進委員会」と「自己点検・評価委員会」の2組織を置くこととする。

① 内部質保証推進委員会

自己点検・評価結果の点検、改善事項の調整、結果の公表を担い、内部質保証推進に責任を負う組織として位置付ける。

② 自己点検・評価委員会

自己点検・評価の取りまとめ、自己点検・評価報告書の作成及び改善計画、改善結果作成を行う組織とする。

「内部質保証推進委員会」及び「自己点検・評価委員会」については別に定める。

内部質保証推進委員会 委員

役職
副学長（委員長）
総務課長
調整総括
教務課長

自己点検・評価委員会 委員

役職
教務課長（委員長）
花き生産コース 主任
花き装飾コース 主任
造園緑化コース 主任
管理調整係長
教務係長

資料 8-2

岐阜県立国際園芸アカデミー アセスメント・ポリシー

内部質保証推進委員会

制定 令和5年3月28日

改正 令和6年8月28日

岐阜県立国際園芸アカデミーは、学修成果の評価に関する方針として、アセスメント・ポリシーを以下のように定める。

(目的)

1. 岐阜県立国際園芸アカデミーは、ディプロマ・ポリシー(DP)、カリキュラム・ポリシー(CP)、アドミッション・ポリシー(AP)の3つの方針に基づく教育の質保証の活動とその結果について、点検・評価し、必要な改善を実施することにより、教育・研究水準の向上と教育・研究活動の活性化を図る。

(評価指標と評価の実施)

1. 学修成果の評価指標は、①機関(学校)レベル、教育課程(マイスター科)レベル ②授業科目レベルの2段階及び④入学時、⑤在学時、⑥卒業時・卒業後の3区分で管理する(表1)。
2. 1の評価指標について、アセスメント・チェックリストに基づいて評価を実施する。

(評価及び改善に繋げる体制)

1. アセスメント・チェック実施者は、評価指標ごとに実績をとりまとめ、分析を行い、改善方策案を作成し、内部質保証推進委員会に報告する。
2. 内部質保証推進委員会は、報告された改善方策案の適切性を評価し、改善方策の承認を行う。また、各評価指標を分析、評価し、学修成果の総括的評価を行う。
3. 実施者は、承認を受けた改善方策に基づき、改善を実施する。
4. 内部質保証推進委員会は、改善結果の検証及び3つの方針の検証を行う。

表1 学修成果の評価指標

	④入学時	⑤在学時	⑥卒業時・卒業後
① 機関(学校)レベル 教育課程(マイスター科)レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験結果 ・調査書の精査 ・志望動機分析(志願理由書) ・入試面接の審査結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA ・修得授業時数 ・資格・免許取得状況 ・ボランティア活動実績 ・退学率・休学率 ・進級率 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業時アンケート ・卒業率 ・就職率・進学率 ・卒業生アンケート
② 授業科目レベル		<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケート ・インターシップ評価 ・成績評価分布 ・授業時数修得者数 	

国際園芸アカデミー アセスメント・チェックリスト

2024.8.28改正

		No.	評価指標	実施時期	実施頻度	対象	評価項目	評価手法	実施者	結果の活用方法																											
① 機 関 （ 学 校 ） レ ベ ル ・ 教 育 課 程 （ マ イ ス タ ー 科 ） レ ベ ル	㉑ 入 学 時	1	・筆記試験結果 ・調査書の精査 ・志望動機分析 （志願理由書） ・入試面接の審査結果	3月	年1回	新1年生	筆記試験、調査書、志願理由書、 入試面接審査の結果（得点）	筆記試験/調査書/ 志願理由書/入試面 接審査	入試委員 会	試験科目・配点等の見直し																											
				3月	年1回	全学年	筆記試験、調査書、志願理由書、 入試面接審査の結果（得点）とそ の後の通算GPA、通算修得授業時 数、退学休学状況等との関係	筆記試験/調査書/ 志願理由書/入試面 接審査/通算GPA/ 通算修得授業時数/ 退学休学状況	入試委員 会	試験科目・配点等の見直し																											
	㉒ 在 学 時	2	・GPA ・修得授業時数	10月・3月	半期ごと	全開講科目	通算GPA、通算修得授業時数	各科目のシラバス に記載された評価 手法	自己点 検・評価 委員会	学年毎の通算GPA平均値、通算修得授業 時数平均値を確認し、カリキュラムや授 業科目を改善																											
											3	・資格・免許取得状況	10月・3月	半期ごと	全学年	技能検定(園芸装飾、フラワー装 飾、造園)、造園施工管理技士、初 級園芸福祉士、その他	受検結果	総務委員 会	対策授業の点検や支援体制の見直し																		
																				4	・ボランティア活動実績	10月・3月	半期ごと	全学年	ボランティア活動内容、実績	ボランティア活動 実績	総務委員 会	ボランティア活動の点検や支援体制の見 直し									
																													5	・退学率・休学率 ・進級率	3月	年1回	全学年	退学率・休学率とその理由、進級 率	資料	自己点 検・評価 委員会	学年毎の退学率・休学率、進級率を確認 し、改善を実施
	7	・卒業率 ・就職率・進学率	3月	年1回	卒業生	卒業率、就職率・進学率	資料	自己点 検・評価 委員会	学年毎の卒業率、就職率・進学率を確認 し、改善を実施																												
										8	・卒業生アンケート	3月	年1回	既卒生	卒業生アンケート項目（学修成果 と現在の状況等）	アンケート調査	教務委員 会	身につけた専門的能力、教養的能力につ いて、卒業後のキャリアへの影響を確認 し、カリキュラム、授業科目及び生涯学 習講座を改善																			

－ 8 教育の内部質保証システム －

	No.	評価指標	実施時期	実施頻度	対象	評価項目	評価手法	実施者	結果の活用方法
⑥ 在 学 時	9	・授業評価アンケート	10月・3月	半期ごと	全開講科目	アンケート評価項目	アンケート調査	教務委員会	成績評価結果と授業評価アンケート結果を確認し、授業科目の改善実施 カリキュラム全体についても確認し、見直しや改善を実施
	10	・インターンシップ評価	3月	年1回	インターンシップ受入企業等	インターンシップ評価票 評価項目	インターンシップ評価	教務委員会	意見・要望への対応 業界で必要としている人材、技能、資格等について、授業科目に反映
	11	・成績評価分布 ・授業時数修得者数	10月・3月	半期ごと	全開講科目	成績評価分布、授業時数修得者数	各科目のシラバスに記載された評価手法	自己点検・評価委員会	科目毎の成績評価分布、授業時数修得者数を確認し、カリキュラムや授業科目を改善

資料9-1 収入と支出の状況 (令和7年度までの10年間)

(1)収入

(単位：千円)

項目	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
使用料・手数料	7,738	9,100	8,204	8,122	8,038	7,677	8,604	8,109	8,783	7,244
生産物売払収入	2,662	2,810	2,366	2,282	1,757	1,891	1,847	1,857	1,757	1,669
寄附金	0	0	0	2,000	2,000	1,000	1,050	1,198	0	0
その他	270	496	31	31	227	32	83	104	69	510
計	10,670	12,406	10,601	12,435	12,022	10,600	11,584	11,268	10,609	9,423

※令和7年度は決算見込み額

(2)支出

(単位：千円)

項目	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
人件費	142,888	147,815	148,754	154,434	149,767	152,194	147,791	160,782	159,479	164,212
運営・管理・設備費等	89,896	62,815	53,601	51,311	43,258	32,470	46,630	57,517	102,178	66,055
計	232,784	210,630	202,355	205,745	193,025	184,664	194,421	218,299	261,657	230,267

※令和7年度は決算見込み額

資料10-2 生涯学習講座 (令和7年度)

○ 一般向け講座

開催日	講座名	講師	募集定員 (人)	受講者数 (人)
7/16	【2回講座】これで貴方も苗作リスト!? ～播種・ポット上げ講座～	前田准教授	20	15
9/3				12
7/20	ザ・メイキング「花束はどう作る?」【親子限定】 ～切花を収穫して花束を作ろう～	雨宮講師 林准教授	20	15
8/1	【高校生まで限定 飛騨地区在住・在学対象】 植物で作るカラフルな宝物 ～親子で楽しくハーバリウムを作ろう～	林准教授	20	17
8/23	緑に癒されてみませんか? ～多肉植物のアレンジメント作り～	村瀬助教	20	13
9/12	「園芸の基礎(植物の生理)」 ～植物の仕組みを知って上手な植物管理を～	前田准教授	20	7(3)
10/19	公園であなたの庭のアイディアを探そう	相田教授	20	9
11/10	【実習あり】 あなたのお庭をアップグレード! ～庭木剪定の基礎を学びましょう～	新井准教授	20	17
12/20	【親子ペア限定・学生主体】 しめ縄づくり ～植物と迎えるはなやか新年～	林准教授	20	11
	小 計		180	117

() はオンライン参加者数(うち数)

○ 実務者向け講座

開催日	講座名	講師	募集定員 (人)	受講者数 (人)
6/17	今を知る「公園管理運営の〆心〆」	今西学長	－*	(32)
7/15	今を知る「街路樹と維持管理」	今西学長	－*	(79)
9/4	今を知る「公園緑地に関わる法令」	今西学長	－*	(66)
10/2	今を知る「公園緑地政策の最新の動き」 ～気候変動対策、生物多様性確保への対応～	古澤顧問	－*	(55)
4/3	園芸福祉サポーターフォローアップ講座①	相田特任教授	10	5
5/9	園芸福祉サポーターフォローアップ講座②	相田特任教授	10	5
6/12	園芸福祉サポーターフォローアップ講座③	相田特任教授	10	6
2/26	園芸福祉サポーターフォローアップ講座④	相田特任教授	10	12
8/29	寄せ植え華道正師範取得講座	吉田准教授、雨宮講師	－	5
5/11	園芸専門学校による”知っておきたい”が学べる講座 「花の歴史(オランダ)」	吉田准教授	25	10
11/7	園芸専門学校による”知っておきたい”が学べる講座 「マナーリテラシー 所得税の基礎編」	佐藤准教授	25	6(3)
	小 計			281 (235)

*オンラインのみの開催講座は定員を設けない。() はオンライン参加者数(うち数)

資料10-3 ボランティア活動 (令和7年度)

実施日	活動内容	活動場所	実施主体 (依頼元)	参加 学生数
4/8 (火)	第42回全国都市緑化ぎふフェア関連 横浜園芸博PR出展花壇の花植え	可児市 (ぎふワールド・ローズガーデン)	一般社団法人 横浜市造園協会	6人
4/19 (土)	関ヶ原開戦地景観整備事業におけるフジ バカマ植栽作業	関ヶ原町 (町内休耕田)	関ヶ原ゼネラル・サ ービス株式会社	7人
5/1 (木)	可児市花いっぱい運動・春植え花壇植え 付け管理講習の補助	可児市 (下恵土地区センター)	可児市	2人
5/16 (金)	第42回全国都市緑化ぎふフェア関連 横浜園芸博PR出展花壇の花植え	可児市 (ぎふワールド・ローズガーデン)	一般社団法人 横浜市造園協会	7人
5/31 (土)	高校生花いけバトル全国選抜大会 準備・競技アシスタント	可児市 (ぎふワールド・ローズガーデン)	全国高校生花いけバトル事務局 (一社) 花いけバトルプロジェクト	5人
6/3 (火) 6/10 (火) 6/26 (木)	可児市議会会場を装飾するバラ鉢植えの ラッピング 3回合計70鉢	学内	可児市	延べ 25人
6/21 (土)	初夏のぎふロードプレーヤー ぎふワールド・ローズガーデンでの剪定作業	可児市 (ぎふワールド・ローズガーデン)	可児市建設業連合会 可児造園協同組合	5人
6/25 (水)	花と緑の連携授業 ハーバリウム指導補助	郡上市 (郡上高等学校)	郡上高等学校	3人
7/20 (土)	生涯学習講座補助 ザ・メイキング「花束はどう作る？」 ～切花を収穫して花束を作ろう～	学内	国際園芸アカデミー	3人
7/21(月・祝)	FC岐阜十六銀行サンクスマッチ応援イベ ント ハーバリウム体験の補助	岐阜市 (岐阜メモリアルセンター)	十六銀行	3人
7/27 (日) 7/28 (月)	オープンキャンパス体験授業補助	学内	国際園芸アカデミー	17人
8/1 (金)	生涯学習講座補助 植物で作るカラフルな宝物 ～親子で楽しくハーバリウムを作ろう～	高山市 (JAひだ 飛騨地区 農業管理センター)	国際園芸アカデミー	1人
8/2 (土)	フルーツパーク夏休み親子体験 制作体 験補助	名古屋市 (東谷山フルーツパーク)	東谷山フルーツパーク	3人
8/23 (土)	生涯学習講座補助 緑に癒されてみませんか？ ～多肉植物のアレンジメント作り～	学内	国際園芸アカデミー	3人
9/9 (火)	緑の学園 体験授業補助	学内	国際園芸アカデミー	4人
10/13 (月)	高校生花いけバトル岐阜大会 大会準備・サポート	可児市 (ぎふワールド・ローズガーデン)	全国高校生花いけバトル事務局 (一社) 花いけバトルプロジェクト	3人
10/24 (金)	可児市花いっぱい運動・秋花壇の 植え付け管理講習の補助	可児市 (やすらぎの森)	可児市	2人
11/3 (月)	農大での花販売	農業大学校	農業大学校	3人
11/10 (月)	花と緑の連携授業 フラワーアレンジメント指導補助	恵那市 (恵那農林高等学校)	国際園芸アカデミー	6人
11/15 (土)	秋のロードプレーヤー	可児市 (ぎふワールド・ローズガーデン)	可児市建設業連合会 可児造園協同組合	2人
11/18 (火)	花育講座・岐阜の花で飾ろう私の学校 講師補助	美濃加茂市 (加茂野小学校)	日本フラワーデザイナー 協会岐阜県支部	8人
11/22 (土)	フジバカマ収穫体験、ポプリ作りワーク ショップの補助	関ヶ原町 (せきがはら人間村人間塾)	関ヶ原ゼネラル・サ ービス株式会社	5人
11/28 (火)	花育講座・岐阜の花で飾ろう私の学校 講師補助	岐阜市 (島小学校)	日本フラワーデザイナー 協会岐阜県支部	8人

－ 10 社会貢献・地域貢献 －

実施日	活動内容	活動場所	実施主体 (依頼元)	参加 学生数
12/5 (金)	岐阜市畜産センター クリスマスリース づくり講座アシスタント	岐阜市 (畜産センター)	昭和造園土木株式会社	3人
12/6, 7(土, 日)	みえ花とみどりのふれあいフェスタ	三重県津市 (メッセウイングNHW)	(一社)JFTD 花キューピット58 三重支部	8人
12/8 (月)	花育講座・岐阜の花で飾ろう私の学校 講師補助	可児市 (今渡小学校)	日本フラワーデザイナー 協会岐阜県支部	8人
12/9 (火)	川合幼稚園 クリスマスオーナメントづくり	可児市 (川合幼稚園)	川合幼稚園	8人
12/12 (金)	川合幼稚園 クリスマスオーナメントづくり	可児市 (川合幼稚園)	川合幼稚園	8人
12/16 (火)	花育講座・岐阜の花で飾ろう私の学校 講師補助	岐阜市 (柳津小学校)	日本フラワーデザイナー 協会岐阜県支部	6人
12/16 (火)	郡上市立高鷲北小学校 クリスマスアレンジメント	郡上市 (高鷲北小学校)	本学	4人
12/20 (土)	生涯学習講座講師補助 しめ縄づくり～植物と迎えるはなやか新年～	学内	国際園芸アカデミー	2人
1/16 (金)	花と緑の連携授業 ウェディングブーケ指導補助	恵那市 (恵那農林高等学校)	恵那農林高等学校	6人
1/28 (水)	花と緑の連携授業 花束制作指導補助	郡上市 (郡上高等学校)	郡上高等学校	4人
1/28 (水)	花と緑の連携授業 コサージュ指導補助	恵那市 (恵那農林高等学校)	恵那農林高等学校	7人
2/12 (水)	フラワーバレンタイン花束制作 190束	学内	岐阜県園芸特産振興会	10人
2/13 (金)	フラワーバレンタイン 花束渡し	可児市 (可児市役所) 美濃加茂市 (美濃加茂市役所)	岐阜県園芸特産振興会	4人
2/25 (水)	岐阜市畜産センター寄せ植え教室 アシスタント	岐阜市 (畜産センター)	昭和造園土木株式会社	3人

資料11-1

「岐阜県立国際園芸アカデミー国際交流計画」(計画期間：令和4年度～令和8年度)の概要

令和4年9月

本学の概要

1 設置

- ・H16(2004)年4月開学
- ・学校教育法に基づく専修学校(修業年限2年)
- ・H30(2018)年2月職業実践専門課程認定

2 教育目標

「花と緑に関する高度な知識と技術を持ち、産業を現場で支える担い手として活躍する実務者の育成」

本学の国際交流の主な実績

1 モロッコ王国(ウジダ・アンガット府)

- ・本学職員による調査、指導【3回、延4人】
- H20(2008)年、H22(2010)年、H24(2012)年
- ・本学への研修員受入れ【5回、延5人】
- H21(2009)年、H22(2010)年、H23(2011)年、H29(2017)年、R2(2020)年

2 フランス(ヴェルサイユ国立高等造園学校等)

- ・本学職員による調査【2回、延3人】
- R元(2019)年、R4(2022)年
- ・本学への研修生受入れ【1回、2人】
- R2(2020)年

3 中国(江西省)

- ・本学への研修員受入れ【2回、2人】
- H22(2010)年、H23(2011)年

4 ベトナム(ゲアン省)

- ・本学への研修員受入れ【1回、2人】
- H28(2016)年

本学の海外視察研修の実績

海外視察研修の概要

- ・2年生前期の必修授業(90時数)
- <到達目標>
- 海外で「フラワーガーデン」の最新デザインを知る
- 海外の有名庭園、花き流通施設を知る
- 海外体験を通じて国際感覚を養う

実施回数：15回(H17(2005)～R元(2019))

R2～R4はコロナ対策のため国内視察

研修先国：伊14回、オランダ5回、フランス2回

学生総数：延べ267人

引率者数：延べ30人

主な視察先(伊)：チェルシーフラワーショー、ウィズリーガーデン、キューガーデン

現状と課題

【現状】

- ・コロナ禍において外国人留学生、日本人学生の留学者数が激減
- ・国際市場開放等の中、コロナ禍において改めて国際交流・協力の重要性が再認識
- ・SDGsの教育目標実現のため持続可能な開発のための教育(ESD)の重要性が認識
- ・本学の国際交流実績が国際化に直接結びついていない。開学からの留学生が2人と少ない。

【本学の課題】

- ・園芸・造園の最先端であるヨーロッパ等において知識、技術、人材育成のノウハウを学ぶため、3つの課題解決が必要

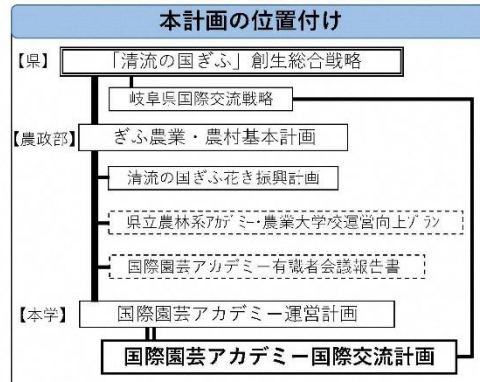
①ヨーロッパ等の国々における教育機関等と本学とのネットワークを構築

②相互交流に係る合意を行い、合意後は学生の派遣及び研修生の受入れ等の相互交流を推進

③相互交流や本学の学習成果等を海外へ情報発信し、海外の最新技術、トレンド等を情報収集

基本方針(目指す姿)

本学学生や教職員の海外での研修、海外の教育機関からの研究員の受入れ、海外を相手にした情報発信や情報収集を行い、**国際性と自立性を備え、花と緑の産業の中核となって活躍できる人材及び地域社会に貢献できる人材を育成するとともに、本学の国際化を推進する。**



運営方針と主な推進施策、目標指標

1 海外の教育機関等との連携体制の整備

- ・国際交流事業や教育関係等の情報を収集するため、国際交流関係機関等との連携を強化
- ・フランスやイギリス、カナダ等の教育機関等との連携体制構築に向けた現地調査及び当該予算の確保
- ・相互交流の合意に向け、ヴェルサイユ国立高等造園学校付属研究所所属研究員との連絡・調整を強化
- ・ヴェルサイユ国立高等造園学校を核としたフランスやイギリスでの人的ネットワークを拡大

目標指標	目標値 (R8年度)
① 海外の教育機関等調査	毎年1カ国調査 (R4年度から)
② 国内教育関係機関等との連絡会議の開催	毎年2回開催 (R5年度から)

2 海外の教育機関等との人材育成面での連携

- ・本学学生の体験派遣や本学への研修員受入れを適切に行うため、海外の教育機関等と人材育成に係る合意に向けた調整を推進
- ・合意が得られた機関を核とし、欧米の他の機関との相互交流に係る合意を拡大
- ・合意後は、最適時期、実施内容、人選等を調整し、学生及び教職員等の相互交流を定着
- ・本学への留学生の門戸を広げるため、受験資格の見直しを行うとともに需要に応じた魅力ある教育プログラムを整備

目標指標	目標値 (R8年度)
③ 海外の教育機関等との相互交流の合意	2機関と合意
④ 海外の教育機関等との相互交流の定着	派遣と受入れを交互に実施

3 海外を相手にした情報発信と情報収集

- ・海外の教育機関等との相互交流や卒業研究・卒業制作、企業との共同研究等の成果をホームページやSNSを活用して情報発信
- ・英語版ホームページを更新・充実
- ・海外で仕事をしている卒業生や本学を卒業した留学生、国際交流員等による特別講義を開催
- ・外務省やJICA等の国際交流に係る関連事業の活用可能性を調査

目標指標	目標値 (R8年度)
⑤ 学修成果のHP等による情報発信	卒業論文等の公表 (R4年度から)
⑥ 国際交流員等による特別講義の開催	毎年1回開催 (R5年度から)

評価
学校関係者評価委員会



資料 11-2 国際交流の実績

実施日	主催・連携先	連 携 内 容	担当者等
5月29日 (木)	成都農業科学技術職業学院 (中国)	・中国 成都農業科学技術職業学院との「技能研修プロジェクトに関する協定」に基づき、副院長他教員等来校し、相互の教育活動等について意見交換 (8名来校)	学長
7月4日(金) 9月3日(火) 9月5日(金) 11月12日(水) 3月17日(火)	岐阜地域留学生交流推進協議会	・「岐阜地域留学生交流推進協議会」の会議に参加し、県内の教育機関等と留学生に関する情報共有(7/4, 3/17) ・留学生に対し、日本語弁論大会、就職支援情報について、情報提供(9/3, 9/5, 11/12)	井戸
7月7日(月) ～ 7月25日(金)	ヴェルサイユ国立高等造園学校附属研究所(フランス)との連携により、ガーデンデザイン研修生受け入れ	・研修生の受け入れについて、ヴェルサイユ国立高等造園学校附属研究所所属研究員と連絡・調整し、6/6 研修生受け入れ承諾書をヴェルサイユ国立高等造園学校へ提出 ・研修生1名を受入(7/7～7/25)。インターンシップ研修として、3週間授業及び視察研修を行った。	学長 教員
7月22日(火) 7月24日(木) 9月29日(月)	ヴェルサイユ国立高等造園学校附属研究所所属研究員(フランス)	・造園学概論の外部講師として研究員に授業を依頼。Zoomを活用してオンライン授業を実施。	学長
9月1日 (月)	精華大学 (中国)	・中国北京にある精華大学建築学部景観学系の李樹華教授、浙江省温州市の園芸会社協春会社の徐社長ら8名が来校。 ・学校概要の説明、施設案内を実施	学長 井戸
11月18日 (火)	成都農業科学技術職業学院 (中国)	・令和8年度成都農業科学技術職業学院からの研修生受け入れについて打ち合わせ	学長
12月17日(水) 、18日(木)	上海華徳園造園科技有限公司 (中国)	・上海華徳園造園科技有限公司の唐 芸氏が来校。 ・学修内容や各種制度等の意見交換、施設案内を実施	学長 井戸
1月19日 (月)	国際園芸アカデミー	・中国人岐阜県国際交流員を招き、特別講義「中国の魅力：文化と植物」を開催	1年生13人 2年生16人 教職員11人
1月21日 (水)	国際園芸アカデミー	・「植物ビジネス論」において、本学OBの田中修一氏(中国JIAXING SHUYI GARDEN)による中国の造園ビジネスについての講義	佐藤 2年生18人
2月2日(月) 3月2日(月)	ヴェルサイユ国立高等造園学校附属研究所所属研究員(フランス)	・ヴェルサイユ国立高等造園学校附属研究所(LAREP)所属研究員と今後の交流について情報交換	学長
3月3日 (火)	国際園芸アカデミー	令和6年4月に入学した外国人留学生1名が卒業	新井